

館報 46



令和5年度（2023年度）
山口県立山口博物館

は　じ　め　に

当館の歴史は、明治45年（1912年）に開設した防長教育博物館まで遡ります。大正6年（1917年）に山口県立教育博物館として県に移管され、その後、収蔵資料を守るための休館や戦後の改編を経て、昭和25年（1950年）に山口県立山口博物館が発足しました。昭和42年（1967年）には新館が開館し、人文・自然両部門をあわせ有する総合博物館として現在に至っています。

県立の博物館としては全国でも最も長い歴史を誇り、「文化の継承と発展のために努める」、「総合博物館として活動する」、「豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する」、「多彩な博物館活動を行う」の4つを基本方針として、36万点を超える資料を収蔵し、その保管、展示及び調査研究を行っています。

また、県民の皆様を対象に多彩な講座や教室を開設する「教育普及活動」、長期研修教員であるミュージアム・ティーチャー（MT）と学芸員とが連携して学校や地域の学習活動を支援する「博物館学校地域連携教育支援事業」等を積極的に展開しており、これらの活動は当館の大きな特長であると自負しています。

さて、令和5年度の事業を振り返りますと、特別展では「やまぐち大考古博ーみよう、ふれよう、やまぐちの3000年ー」をテーマとして、山口県における発掘調査や史跡整備など、半世紀にわたる考古学の成果を総合的に紹介することで、本県の魅力を県内外に広く発信したところです。

この特別展の開催にあわせて、県内19市町の関係施設との連携イベントや記念スタンプラリー等を実施しましたが、令和5年4月に施行された「改正博物館法」で努力義務とされている、「他の博物館等と連携すること、及び地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り地域の活力の向上に取り組むこと」につながる一つの事例を展開できたと思っています。

さらに、県内の児童生徒が取り組んだ自然観察や実験の研究成果、工夫を凝らして製作した用具など、優れた作品や研究成果を顕彰する「サイエンスやまぐち2023」や、「音ってなあに？」と「手鑑『多々良の麻佐古』中世大名大内氏文書の粹」の2つの企画展も、総合博物館としての強みを発揮しながら開催することができました。

一方、「教育普及活動」では、昆虫教室、植物教室、地学教室、科学工作講座、歴史教室、天体観望会など延べ25講座を開催し、毎回多くの参加者に楽しんでもらうとともに、「博物館学校地域連携教育支援事業」では、出前授業、当館での社会見学や職場体験、館内授業などをオンラインも活用して実施し、延べ476団体、1万4千人を超える方々にご利用いただいております。

これからも、県民の皆様のニーズを踏まえた展示内容の工夫、学校・地域と連携した教育普及活動の充実、こうした諸活動の基盤となる調査研究等に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のご来館とご利用を心からお待ちしております。

令和6年9月

山口県立山口博物館

館長 西 村 和 彦

目 次

I	沿 革		1
II	管 理 運 営 概 要		4
1	組 織		4
2	敷地・建物の概要		5
III	令和5年度利用状況及び年次推移		8
IV	令和5年度事業概要		14
1	資料の収集・保管		14
2	資 料 展 示		18
3	調 査 ・ 研 究		36
4	教 育 普 及		39
5	そ の 他		45
V	基本方針と令和6年度の事業概要		47

I 沿革

- 明治41年 4月 皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で山口県教育品及び物産展覧会を御覧になられた。
- 明治41年10月 山口県教育会長が山口町長と大殿小学校旧校舍敷地建設使用契約を締結した。
- 明治45年 4月 皇太子行啓記念事業として、山口県教育会が大殿小学校旧校舍を補修して防長教育博物館を設置した。（展示物総計5,451点）
- 大正 3年 9月 巡回教育博物館活動を開始した。（吉敷郡宮野村ほか）
- 大正 4年10月 山口県立教育博物館建設費が県会で議決された。
- 大正 5年 1月 山口県教育会は代議員会で、大正 5年度限りで防長教育博物館を廃止し、図書、標本、機械、器具を山口県立教育博物館へ寄付することを決定した。
- 大正 6年 4月 山口県は大正天皇即位大典記念事業として山口県立教育博物館を設置、同年 8月19日で旧館を閉じ、9月23日現在地に新館を開館した。
- 大正15年 5月 皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で、御来館された。
- 昭和 2年 1月 大典記念山口県立教育博物館と改称された。
- 昭和 3年12月 皇太子殿下の行啓を記念した防長先賢堂が落成した。
- 昭和 7年 6月 特別室が竣工した。
- 昭和12年 5月 吉岡訓導銅像（制作者 保田龍門）、阿部校長銅像（制作者 河内山賢祐）の除幕式が行われた。
- （昭和18年11月供出）
- 昭和16年 9月 博物館前庭に赤道儀室（スライディングルーフ式）を建築、10cm屈折赤道儀を新設し日食観察を実施した。
- 昭和17年12月 山口道場門前から、枕流亭（維新の史蹟建造物）を本構内に移築した。
- 昭和20年 4月 第2次世界大戦の苛烈化のため、4月21日展観を中止、資料を疎開し博物館は休止した。
- 昭和21年 4月 山口県立教育博物館に山口県立科学教育研究所が設置された。
- 昭和22年 4月 山口県立科学教育研究所が山口県立科学博物館と改称された。
- 昭和23年 3月 第1回山口県科学振興展覧会を開催した。
- 昭和25年 7月 自然・人文両部門をあわせ有する総合博物館として教育博物館と科学博物館を統合して山口県立山口博物館が再発足した。
- 昭和27年 5月 山口県立山口博物館設置条例（昭和27年山口県条例第35号）が公布された。
- 昭和39年 3月 山口県博物館条例（昭和39年山口県条例第55号）が公布された。
- 昭和42年10月 建物の老朽化のため、鉄筋コンクリート建築に改築して10月 1日開館し現在に至る。
- （設計 坂倉準三）
- 維新100年記念開館特別展「近代国家へのあゆみ」を開催した。（入館者 179,526人）



山口県立教育博物館（大正 6年）



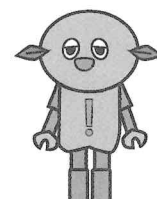
新館建設の様子



「近代国家へのあゆみ」開催

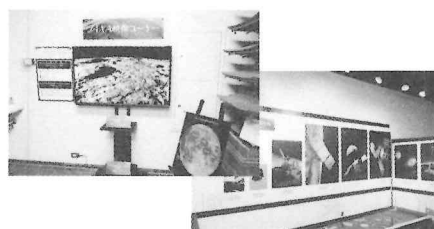
- 昭和43年 9月 D60型 1号蒸気機関車を山口博物館構内に展示（無償貸借）
- 昭和62年10月 理工展示室NTTコーナーを改装した。
- 昭和63年 3月 理工展示室中国電力コーナーを改装した。東側屋外階段を改築（鉄骨化）した。
- 平成元年 3月 屋外階段（建物正面）の撤去・新設工事を実施した。

平成2年3月	建物のイメージアップとパークロード周辺の建物との調和を図るため外壁（東側）をタイル張りに改修した。 理工展示資料を充実した（山口線運転シミュレータ、X線分析装置、真空凍結乾燥装置、アナモフォーシスほか）。 アスベスト除去工事（館長室、事務室、学芸員室、特別収蔵庫）、歴史展示室の常設ケース更新を実施した。
平成3年3月	前年度に引き続き理工展示資料を充実した（展示ロボット、教育用ロボット、多関節形ロボット、電気の原理模型ほか）。 生物展示ケースの常設ケースを更新した。
平成4年3月	博物館裏山（春日山）の公園整備にあわせ建物のイメージアップと周辺との調和を図るため、外壁（西側）をタイル張りにするとともに非常階段（西側）の改築も行った。 生物展示室、地学展示室の常設ケースを更新した。先賢堂の改修を実施した。
平成5年3月	20cm屈折赤道儀修理、地学展示室の常設ケース更新（常設ケース更新事業終了）
平成6年2月	受電設備の老朽、劣化にともなう電気設備の改修
平成7年4月	旧教育研修所第2研修部が所屬替により山口博物館の管理となる。
〃 7月	高齢者及び身体障害者安全対策設備（階段手摺り設置、車椅子設置、車椅子用便所に改修、車椅子階段昇降機設置（展示室））
平成8年4月	別館（旧教育研修所第2研修部）の改修整備
平成10年1月	教育用ロボットの更新（対戦型バスケットボール）
平成11年8月	天体ドームのリニューアル工事
〃 9月	1階入口ドアの改修（自動ドア）
平成12年2月	特別収蔵庫の改修
平成13年3月	2階展示室に監視カメラを設置
〃 7月	玄関タイルの改修、車椅子用階段昇降機（内階段）の設置
〃 12月	PDB対策のため照明器具の取替、先賢堂屋根の補修
平成15年3月	ホームページ用サーバー等設置（博物館情報発信環境整備事業）
〃 10月	別館廊下床改修
平成16年3月	エレベーターの全面更新、3階展示室壁面クロス貼替工事
〃 4月	長期研修教員2名配置（博学連携事業開始）
平成17年6月	燻蒸室改修工事
平成18年3月	ロボットコーナー改修工事（FANUC改修、AIBO設置）、本館屋上全面改修工事、展示室フロアーコンセント改修工事
〃 4月	長期研修教員1名増員（計3名）
〃 4月	本館火災報知設備改修工事、別館屋上雨漏り補修工事
〃 6月	考古歴史常設展示ケース改修工事
平成19年6月	特別展示室（旧講堂）空調設備改修工事
〃 12月	「未来都市模型」改修
平成21年3月	山口線シミュレータ改修
平成22年3月	ターボ冷凍機圧縮機全分解整備
〃 9月	高効率蛍光灯設置工事（環境政策課）
平成23年1月	3階理工展示室体験型展示資料更新（5点）
〃 3月	別館屋上太陽光パネル設置工事（環境政策課）
平成24年2月	開館100周年記念マスコットキャラクター（なっとくん）選定



「なっとくん」

平成24年 3月	住民生活に光をそそぐ交付金の活用により、施設改修（1階収蔵庫・2階生物資料庫改修工事、別館屋上防水工事、ガス管交換工事、本館トイレ工事、段差解消機設置工事ほか）及び展示資料の更新（2階理工ロボットコーナー更新、くらしのなかのサイエンスコーナー新設、地学展示室ティラノサウルス骨格複製レプリカ購入、植物・動物展示室全面更新、天文太陽系運行模型等更新、3階体験学習コーナー11点新設ほか）を行った。
	開館100周年記念式典を挙（3月27日）
〃 7月	「山口博物館100年のあゆみ」刊行
平成25年 4月	長期研修教員1名増員（計4名）
平成26年 3月	本館屋上排水口拡張工事、本館外壁爆裂箇所修繕工事、本館屋上タイル修繕工事
〃 7月	アスベスト対策工事のため休館
〃 9月	給水管布設替え工事
平成27年 3月	消防設備改修工事、本館屋上階段補修工事
〃 6月	山口大学埋蔵文化財資料館と連携協力協定を締結
平成28年 1月	ターボ冷凍機抽気装置改修
〃 5月	アスベスト対策工事終了
〃 7月	再オープン
〃 7月	「松下村塾コーナー」を新設
平成29年 4月	長期研修教員1名減員（計3名）
〃 11月	「JAXAコーナー」を新設
平成30年 4月	明治150年を記念し、吉田松陰関係資料等を特集展示
〃 12月	「ミニ維新体験館」を新設
平成31年 3月	ターボ冷凍機分解整備
令和2年 3月	別館屋上外壁改修工事（令和2年5月終了）
〃 3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月3日から3月26日まで）
〃 5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（4月14日から5月24日まで）
〃 5月	「バーチャル博物館（ミュージアム）inやまはく」開設（HP上）
〃 7月	「すごいおもちゃコーナー」新設（理工展示室）
令和3年 2月	本館・別館トイレ洗面蛇口自動水栓改修
〃 〃	「ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく」開設（文化庁事業：HP上）
〃 8月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（8月26日から9月26日まで）
〃 9月	本館・別館トイレ自動照明改修
令和4年 3月	「デジタル松下村塾」開設（（歴史展示室等、3月18日）
〃 3月	「バーチャル収蔵庫」開設（当館HP上、3月18日）
〃 3月	「バーチャル山口博物館」開設（HP上のバーチャル展示を統合、3月18日）
令和5年 5月	山口博物館高架水槽設備改修工事
〃 10月	「すご技！やまぐち」コーナー開設（10月19日）
〃 11月	別館講座準備室 空調機器更新工事



JAXAコーナー



ミニ維新体験館



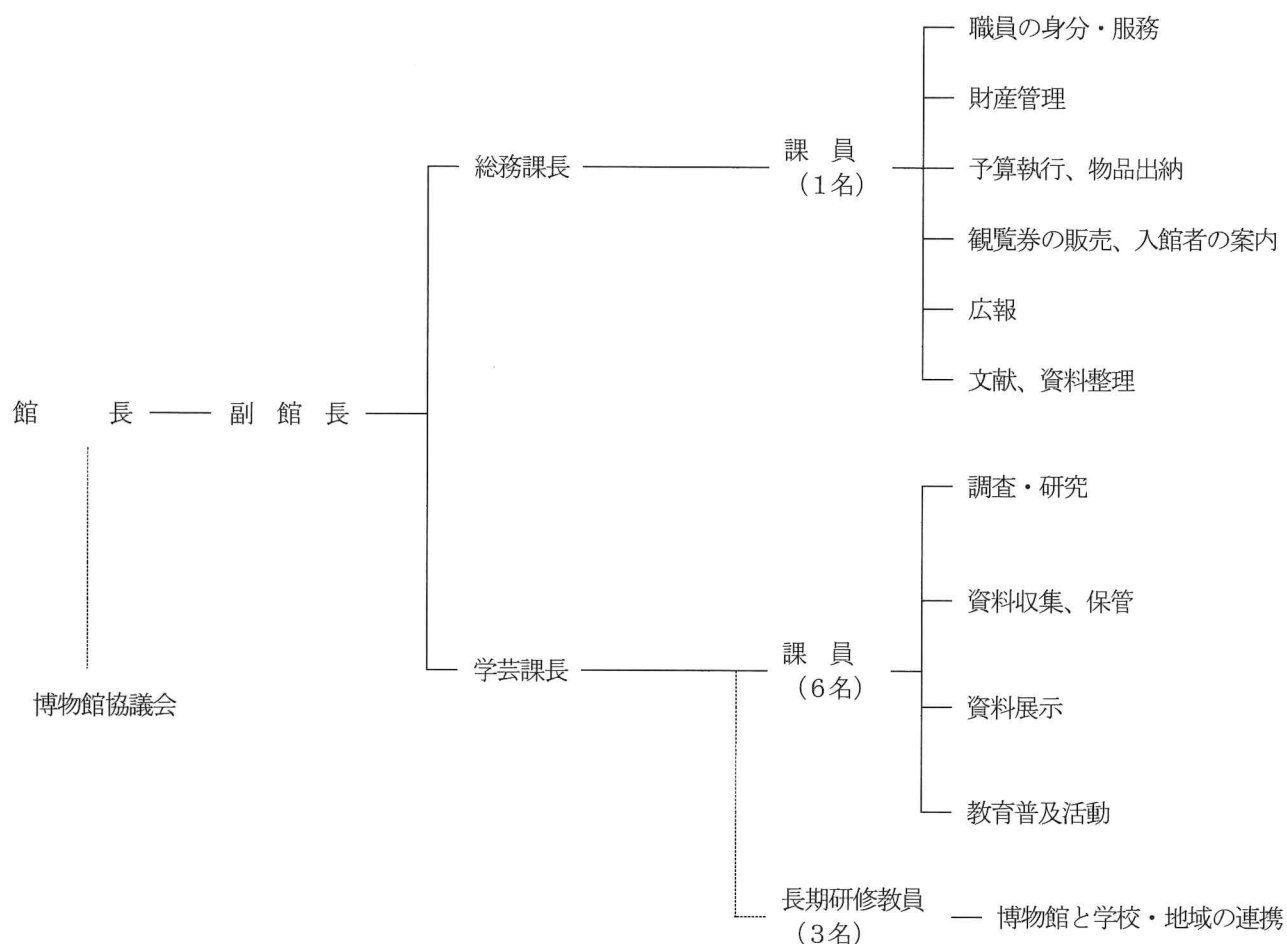
デジタル松下村塾



バーチャル収蔵庫

Ⅱ 管理運営概要

1 組 織



◎ 職員名簿（令和5年4月1日現在）

職 名	氏 名	事 務 分 掌
館 長	西 村 和 彦	館運営総括
副 館 長	松 田 誠 司	館運営総括補佐
総 務 課 長	伊 藤 仁	総務業務の総括、公印、人事、予算、歳入、広報
学 芸 課 長	漁 剛 志	学芸業務の総括、理工
主 任（総 務 課）	室 田 紀 泰	歳出、業務委託、給与、旅費
主 査（学 芸 員）	岩 村 和 政	天文
主 任（学 芸 員）	赤 崎 英 里	地学
主 任（学 芸 員）	阿 部 来	考古
主 任（学 芸 員）	田 中 浩	動物
主 任（学 芸 員）	山 田 稔	歴史
主 任（学 芸 員）	杉 江 喜 寿	植物
教 頭（長 研 教 員）	宮 川 修 史	博学地域連携
教 諭（長 研 教 員）	福 田 敦 宏	博学地域連携
教 諭（長 研 教 員）	長谷川 孝 太	博学地域連携

2 敷地・建物の概要

庁舎敷地・管理分掌敷地 19,905.04 m²

(1) 本 館

建 築 面 積 1,771.20 m²

建 築 延 面 積 3,597.21 m²

軒 高 19.050 m

最 高 部 高 さ 22.250 m

構 造 概 要

鉄筋コンクリート造り 地上5階

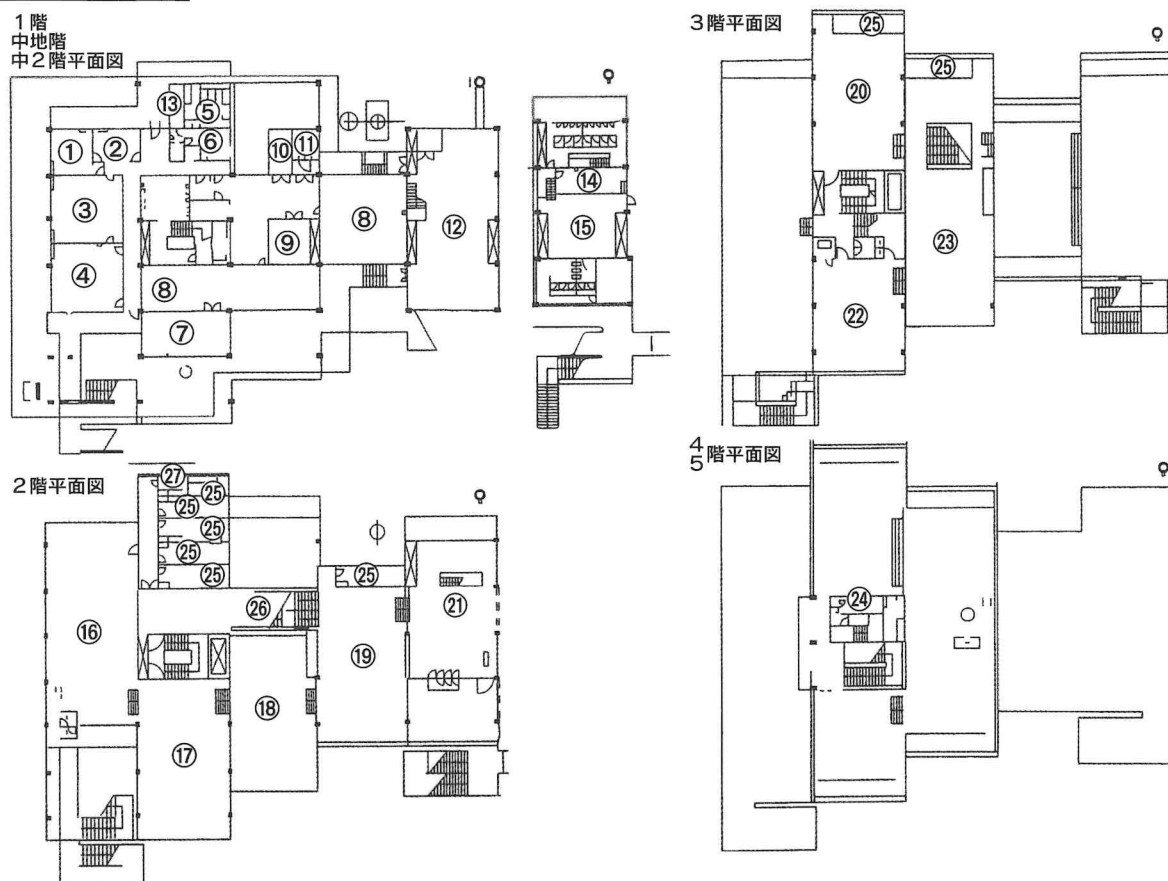
地下1階（一部）

竣 工 昭和42年3月

開 館 昭和42年10月

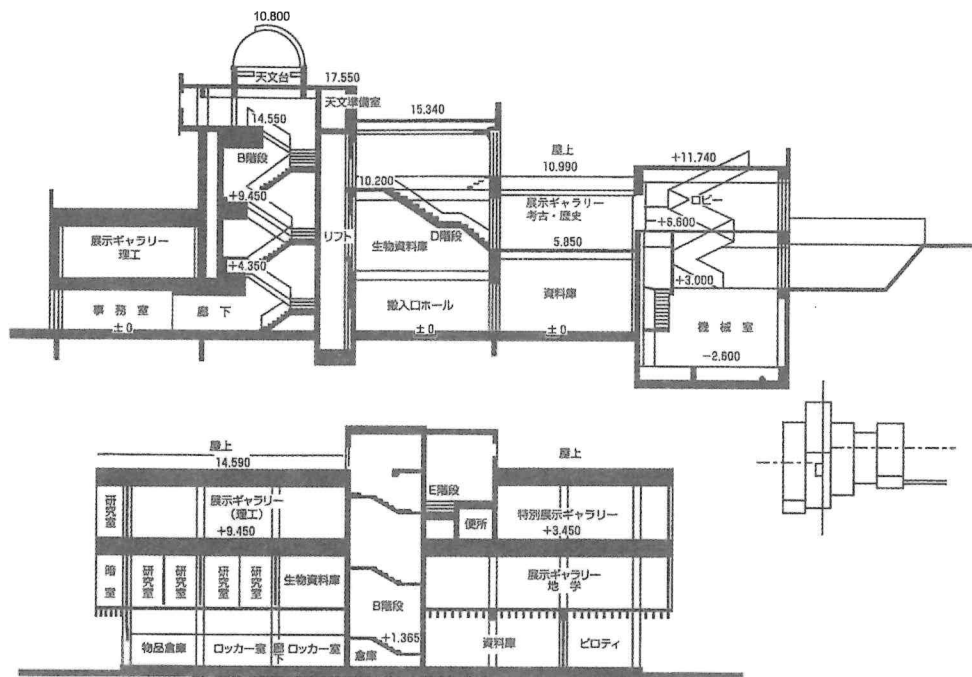
総工事費 約2億6,100万円

建物平面図



1. 館長室	25.92m ²	11. 燻蒸室	17.01m ²	21. 天文展示室	180.72m ²
2. 応接室	22.50m ²	12. 機械室	222.62m ²	22. 特別展示室	142.56m ²
3. 学芸員室	69.26m ²	13. ロッカー室	7.56m ²	23. 理工展示室	294.40m ²
4. 事務室	69.26m ²	14. 技師室	27.72m ²	24. 観測室	79.92m ²
5. 会議室	29.16m ²	15. 電気室	66.42m ²	25. 研究室	152.10m ²
6. 物品庫	17.60m ²	16. 理工展示室	259.20m ²	26. 生物資料庫	116.64m ²
7. 特別資料室	58.32m ²	17. 地学 "	200.88m ²	27. 薬品庫	8.64m ²
8. 資料庫	233.28m ²	18. 植物・動物 "	194.40m ²	その他	677.49m ²
9. 地学工作室	32.40m ²	19. 考古・歴史 "	200.88m ²		
10. 梱包材料庫	15.39m ²	20. 理工 "	174.96m ²	合 計	3,597.21m ²

建物断面図



山口博物館正面



山口博物館全景（平成23年10月）

(2) 別 館（旧山口県教育研修所第二研修部庁舎、昭和36年7月20日竣工）

建 築 面 積 480.23㎡

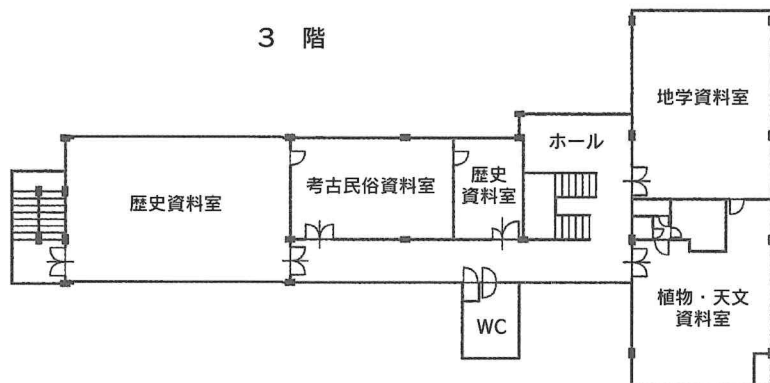
建 築 延 面 積 1,566.3㎡

建物平面図

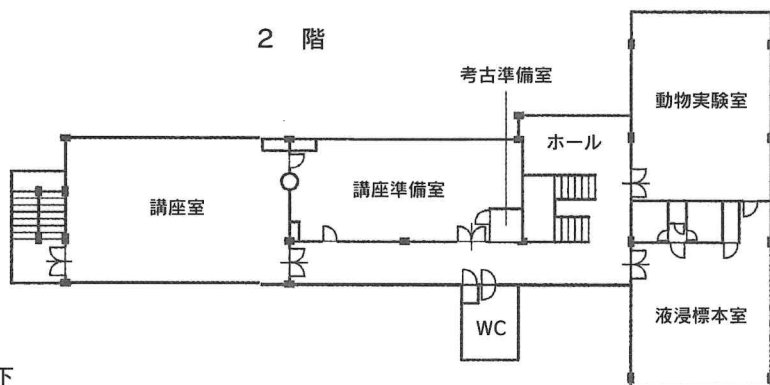
屋上ペントハウス



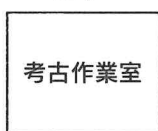
3 階



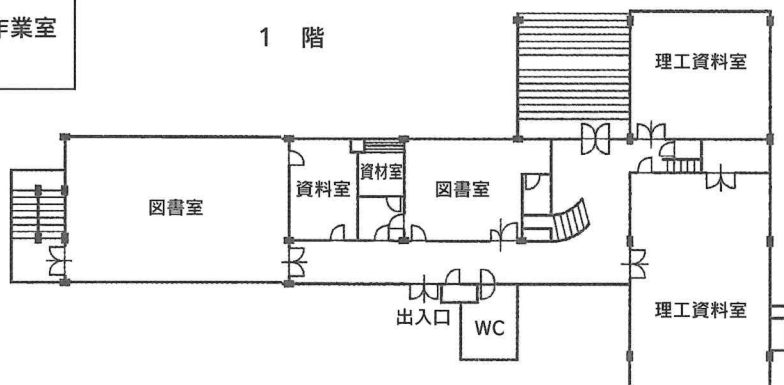
2 階



地下



1 階



(3) 赤レンガ（旧維新記念室、大正6年竣工）

建 築 面 積 157.02㎡

建 築 延 面 積 157.02㎡

(4) 防長先賢堂（昭和3年竣工）

建 築 面 積 178.51㎡

建 築 延 面 積 178.51㎡

Ⅲ 令和5年度利用状況及び年次推移

(1) 総利用者数

【令和5年度】

入館者			計	教育普及	館内利用	館外利用	レファレンス	合計
常設展	特別展	サイエンス						
人	人	人	人	人	人	人	人	人
16,664	8,023	2,293	26,980	667	(158) 3,176	11,150	479	(39,434) 42,452

※ () は社会見学利用を除いた数

【年次推移（平成30年度以降）】

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
入館者数（人）	41,567	38,106	23,500	18,024	32,171	26,980
常設展（人）	16,212	17,166	7,705	12,991	18,188	16,664
特別展（人）	23,420	18,412	13,968	2,309	11,796	8,023
サイエンス（人）	1,935	2,528	1,827	2,724	2,187	2,293
教育普及活動（人）	2,091	1,647	422	444	578	667
レファレンス（人）	516	450	436	403	474	479
出前授業等（人）	21,106	23,302	10,953	15,341	17,051	14,326
計（人）	65,280	63,505	35,311	34,212	50,274	42,452

※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため特別展開催期間中の8月26日～9月26日まで臨時休館した。

(2) 入館者の状況

【令和5年度】（個人・団体別）

区分	入館者								入館者合計	開館日数	入館者数 一日平均
	個人				団体						
	大人	大学生 高校生	小中学生	その他	大人	大学生 高校生	小中学生	その他			
常設展	6,734	382 119	2,810	3,507	22	0 4	2,572	514	16,664	300	56
特別展	3,419	867 136	1,231	2,169	0	0 0	100	101	8,023	36	223
サイエンス	678	11 9	420	471	0	0 4	654	46	2,293	15	153

★特別展

「やまぐち大考古博 ～みよう、ふれよう、やまぐちの3000年～」の概要

- 1 期 間
令和5年7月21日（金）～9月3日（日）36日間（月・火休館）
- 2 入館者数
8,023人 ※昨年11,796人（32.0%減）、一昨年2,039人（293.5%増）
- 3 入館料収入
3,893千円 ※昨年4,039千円（3.6%減）、一昨年1,073千円（262.8%増）
- 4 有料入館者率
53.2% ※昨年35.7%、一昨年49.5%
- 5 アンケート結果
「良かった」「とても良かった」が92%（昨年93%、一昨年95%）
- 6 状況

特別展入場者数、関連イベント参加者数の目標を達成し、有料入館者の割合も例年より高い数値となった。年齢層は40代以上が多かったことが推測され、小学生が中心となる例年とは異なる結果といえる。また、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センターの「国立博物館収蔵品貸与促進事業」の採択を得て、当館として初めて東京国立博物館から13件の資料を借用し、展示を行った。

さらに、県内の教育委員会、文化財関係機関等の協力を得て、スタンプラリーや関連イベントを各地で開催して、情報発信や集客での連携を進めることができたことは、参加者にも好評であった。

★サイエンスやまぐち2023

① 第77回山口県科学作品展の概要

- 1 期 間
令和5年10月27日（金）～11月12日（日）（15日間開催）
- 2 内 容

県内の各学校に出品された作品は、約31,300点（自然の部 約25,200点、創造の部 約6,100点）であり、県内各学校及び各地区での審査を経て、県科学作品展に198点（自然の部159点、創造の部39点）が出品された。入賞者の内訳は以下のとおり。

	出品点数	優秀賞	奨励賞	入選	佳作	入賞点数計
自然の部(小学校1・2年)	30	1	1	3	6	11
自然の部(小学校3・4年)	34	1	1	3	6	11
自然の部(小学校5・6年)	38	1	1	4	8	14
自然の部(中学・高等学校)	57	1	1	7	14	23
自然の部【総数】	159	4	4	17	34	59
創造の部【総数】	39	2	2	4	9	17

② 第77回山口県科学研究発表会の概要

- 1 開催日（審査日）
令和5年10月12日（木）

2 内 容

児童生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVD の形で募集し、審査を実施。
発表数は 19 件（小学校の部 9 件、中・高の部 10 件）で、入賞者の内訳は以下のとおり。

校種部別	発表数	優秀賞	奨励賞	入選
小学校の部	9	1	1	1
中・高の部	10	1	2	1

【特別展及びサイエンスやまぐち入館者数 年次推移（平成 20 年度以降）】

年度	特別展	入館者数（期間）	サイエンスやまぐち	入館者数（期間）
H20	ロボット展	30,121 人(20 日間)	サイエンスやまぐち '08	2,151 人(15 日間)
H21	タネたねワールド探検隊	11,073 人(27 日間)	サイエンスやまぐち '09	2,035 人(15 日間)
H22	やまぐち動物大百科展	20,210 人(34 日間)	サイエンスやまぐち '10	3,127 人(15 日間)
H23	恐竜～ダイナソーの世界～	45,624 人(28 日間)	サイエンスやまぐち '11	2,708 人(15 日間)
H24	大鉄道展	64,540 人(41 日間)	サイエンスやまぐち '12	2,327 人(15 日間)
H25	発見！産業アドベンチャー	12,186 人(40 日間)	サイエンスやまぐち '13	2,334 人(15 日間)
H26	テーマ展として実施		サイエンスやまぐち '14	1,703 人(14 日間)
H27	改修のため、特別展等は他館で開催		サイエンスやまぐち '15	1,150 人(15 日間)
H28	昆虫のふしぎな世界	27,804 人(40 日間)	サイエンスやまぐち '16	1,698 人(15 日間)
H29	アリスと大冒険 3Dふしぎ博物館	37,910 人(40 日間)	サイエンスやまぐち '17	1,838 人(15 日間)
H30	宇宙兄弟展 2018×やまぐちと宇宙	23,420 人(41 日間)	サイエンスやまぐち '18	1,935 人(15 日間)
R1	どきどき！ドローン・ワールド	18,412 人(28 日間)	サイエンスやまぐち '19	2,528 人(15 日間)
R2	生物の進化と恐竜ワールド	13,968 人(36 日間)	サイエンスやまぐち '20	1,827 人(15 日間)
R3	江戸時代の旅と街道	2,309 人(16 日間)	サイエンスやまぐち '21	2,724 人(15 日間)
R4	ふしぎ・おどろき・大動物展	11,796 人(36 日間)	サイエンスやまぐち '22	2,187 人(15 日間)
R5	やまぐち大考古博	8,023 人(36 日間)	サイエンスやまぐち '23	2,293 人(15 日間)
平均（H26,27.R3 の特別展を除く）		25,007 人		2,160 人

※平成 26～27 年度の特別展は、博物館改修のため他館で開催

【特別展】

H26	（テーマ展）きらり山口！人物伝	594 人	（7 日間、県政資料館）
H27	NHK 大河ドラマ特別展「花燃ゆ」	14,107 人	（34 日間、萩美術館・浦上記念館）
〃	（特別展）世界大恐竜展	80,245 人	（47 日間、県立美術館）
H30	（特別展）明治 150 年記念特別展「激動の幕末長州藩主毛利敬親	19,619 人	（42 日間、県立美術館）

【サイエンスやまぐち】

H26	サイエンスやまぐち 2014	県政資料館
H27	サイエンスやまぐち 2015	県社会福祉会館

(3) 教育普及講座の実施状況

【令和5年度】

全参加者数 (人)	667人
-----------	------

- ・予定していた25回の講座のうち、実施したのは23回（2回は悪天候のため中止）
- ・詳細については、「令和5年度事業概要 4 教育普及」に記載

【年次推移（平成30年度以降）】

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平均
参加者数 (人)	2,091	1,647	422	444	578	667	975

※R2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と安全対策（主に天文分野）として募集定員の制限を実施

(4) 博物館学校地域連携教育支援事業の実施状況

【令和5年度】

博物館学校地域連携教育支援事業 利用者数集計表（対象別内訳）

【年間計】

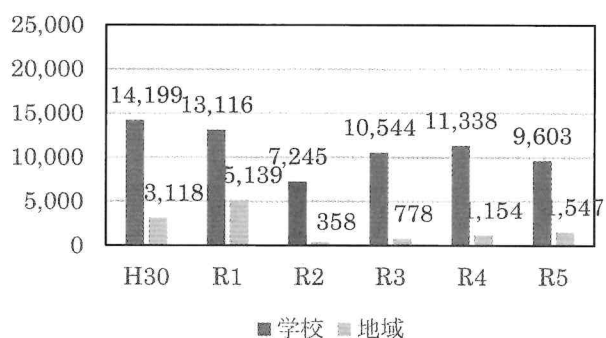
館内利用			幼保	小	中	高・大	教員※	保護者	地域	引率※	計
A 社会見学	学校	人	9	2,200	317	0	60	30	0	201	2,817
		団体	1	102	17	0	3	0	1	—	124
	地域	人	0	129	5	0	0	0	30	37	201
		団体	—	—	—	—	—	—	6	—	6
B 館内授業	学校	人	0	117	5	0	0	0	0	15	137
		団体	0	5	1	0	0	0	0	—	6
	地域	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	—	—	—	—	—	—	0	—	0
C 職場体験	学校	人	0	0	21	0	0	0	0	0	21
	地域	人	—	—	—	—	—	—	0	—	0

館外利用			幼保	小	中	高・大	教員	保護者	地域	引率※	計
A 出前授業	学校	人	0	3,511	333	33	360	310	43	0	4,590
		団体	0	254	18	4	0	0	1	—	277
	地域	人	0	708	101	0	148	67	95	0	1,119
		団体	—	—	—	—	1	—	36	—	37
B 教材貸出	学校	人	0	1,211	2,739	40	106	60	30	0	4,186
		団体	0	4	16	1	1	0	0	—	22
	地域	人	0	36	257	0	0	30	0	0	323
		団体	—	—	2	—	1	—	1	—	4
C 移動展示	学校	人	0	816	0	0	11	0	0	0	827
	地域	人	—	—	—	—	—	—	105	—	105

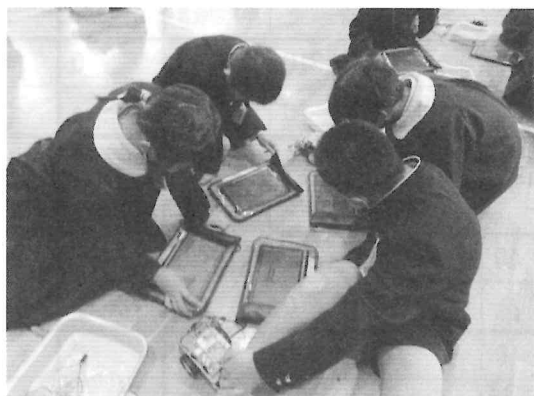
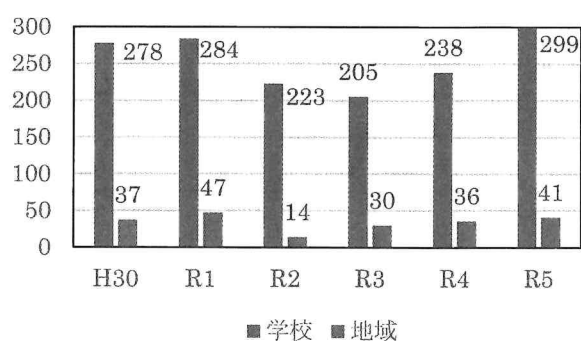
【年次推移（平成 30 年度以降）】

年 度			H30	R1	R2	R3	R4	R5
利用者総数			21, 106	23, 302	10, 953	15, 341	17, 051	14, 326
利用団体総数			456	530	329	319	388	476
学 校	館内利用	利用者数	3, 602	3, 814	3, 153	3, 973	4, 538	2, 975
		利用団体数	137	151	74	81	112	130
	館外利用	利用者数	14, 199	13, 116	7, 245	10, 544	11, 338	9, 603
		利用団体数	278	284	223	205	238	299
地 域	館内利用	利用者数	187	1, 233	197	46	21	201
		利用団体数	4	48	18	3	1	6
	館外利用	利用者数	3, 118	5, 139	358	778	1, 154	1, 547
		利用団体数	37	47	14	30	37	41

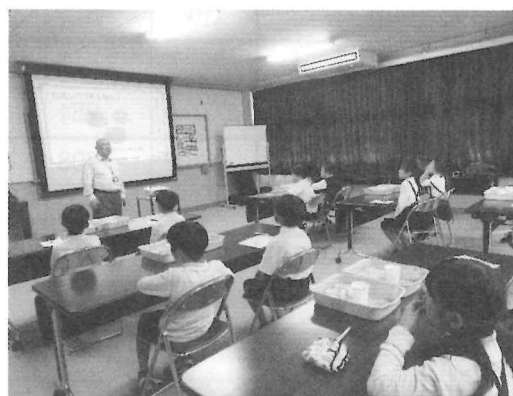
館外利用（出前授業等）の
実績（人数）



館外利用（出前授業等）の
実績（団体数）



出前授業（ロボットプログラミング）



館内授業（化石レプリカづくり）

(5) 資料・写真の貸出等（展覧会・講座等）

【令和5年度】

件数（件）	119
-------	-----

【年次推移（平成30年度以降）】

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平均
件数（件）	245	156	130	138	140	119	162

(6) レファレンスその他の実施状況

【令和5年度】

件数（件）	479
-------	-----

(分野別)

	天文	地学	植物	動物	考古	歴史	理工	合計
件数（件）	28	10	62	130	145	78	26	479

【年次推移（平成30年度以降）】

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平均
件数（件）	516	450	436	403	474	479	460

(7) ホームページアクセス件数（アクセス件数の記録は平成29年度以降）

【令和5年度】

件数（件）	—
-------	---

【年次推移（平成30年度以降）】

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平均
件数（件）	115,225	107,547	134,568	142,570	166,228	—	

※R5年度より集計方法変更のため記載していない

Ⅳ 令和5年度事業概要

1 資料の収集・保管

(1) 収蔵資料数 (令和6年3月31日現在)

部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
資料数	282	4,960	215,268	133,913	1,121	4,817	4,753	4,841	369,955
前年度 増 減	0	26	149	423	49	0	20	0	667

(2) 新着資料(令和5年度)

部門	資 料 名	数量	寄贈者・購入先
植物	腊葉標本 ※登録及び保管処理済のみ	131 点	寄贈 (三宅貞敏氏)
		10 点	寄贈 (木場英明氏)
		5 点	寄贈 (永井要明氏)
		2 点	寄贈 (原まゆみ氏)
		1 点	寄贈 (林 睦子氏)
地学	芦屋層群陣ノ原層産のハクジラ 類化石 (椎骨、肋骨、歯) 岩石標本と河山鉦山鉦床図	1 セット	寄贈 (牧野彰人氏)
		25 点	寄贈 (県立岩国高等学校)
動物	アフリカゾウ牙他 タイマイ剥製	2 点	寄贈 (松崎 洋氏)
		1 点	寄贈 (白尾秀樹氏)
歴史	井上馨詩書 杉孫七郎関係資料	1 幅	寄贈 (長坂幸夫氏)
		19 点	寄贈 (杉 徳和氏)
理工	科学教育機器	49 点	寄贈 (県立岩国高等学校)



特別収蔵庫 ①



特別収蔵庫 ②



動植物収蔵庫 (生物資料庫) ①



動植物収蔵庫 (生物資料庫：植物) ②

(3) 収蔵資料数の年次推移（平成27年（2015年）度より）

	平成 27年 (2015)	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)	令和 2年 (2020)	令和 3年 (2021)	令和 4年 (2022)	令和 5年 (2023)
天文	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	1 (282)	— (282)
地学	- (4,865)	5 (4,870)	43 (4,913)	2 (4,915)	1 (4,916)	— (4,916)	13 (4,929)	5 (4,934)	26 (4,960)
植物	1,150 (213,297)	378 (213,675)	116 (213,791)	269 (214,060)	97 (214,157)	168 (214,325)	339 (214,664)	455 (215,119)	149 (215,268)
動物	3,652 (117,430)	6,594 (124,024)	2,658 (126,682)	1,538 (128,220)	758 (128,978)	586 (129,564)	621 (130,185)	3305 (133,490)	423 (133,913)
理工	4 (1,070)	1 (1,071)	— (1,071)	— (1,071)	1 (1,072)	— (1,072)	— (1,072)	— (1,072)	49 (1,121)
小計	4,806 (336,943)	6,978 (343,921)	2,817 (346,738)	1,809 (348,547)	857 (349,404)	754 (350,158)	973 (351,131)	3766 (354,897)	647 (355,544)
考古	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)
歴史	27 (4,656)	— (4,656)	1 (4,657)	65 (4,722)	— (4,722)	— (4,722)	10 (4,732)	1 (4,733)	20 (4,753)
美術 工芸	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)
民俗	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)
小計	27 (14,314)	— (14,314)	1 (14,315)	65 (14,380)	— (14,380)	— (14,380)	10 (14,390)	1 (14,391)	20 (14,411)
合計	4,833 (351,257)	6,978 (358,235)	2,818 (361,053)	1,874 (362,927)	857 (363,784)	754 (364,538)	983 (365,521)	3,767 (369,288)	667 (369,955)

(4) 館蔵指定文化財一覧（寄託品を含む）

No.	指定 区分	種別	資料名	点数	指定年月日	所蔵者
1	国	絵画	絹本着色毛利元就像	1 幅	昭和 44 年 6 月 20 日	豊栄神社
2	国	絵画	絹本着色仁王経曼荼羅図	1 幅	昭和 53 年 6 月 15 日	神上寺
3	国	工芸品	太刀 銘口友 伝助友	1 口	大正元年 9 月 3 日	野田神社
4	国	歴史 資料	防長土図 附長持並櫃	109 個	平成 5 年 1 月 20 日	山口県
5	国	歴史 資料	正徳元年朝鮮通信使進物並進物目録 附長持	106 点	平成 5 年 6 月 10 日	山口県
6	国	有形民 俗文化 財	江崎のまるきぶね	1 隻	昭和 32 年 6 月 3 日 昭和 50 年 10 月 1 日	山口県
7	県	彫刻	能面	10 面	昭和 41 年 6 月 10 日	正八幡宮
8	県	絵画	絹本着色大庵須益和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
9	県	絵画	絹本着色全岩東純和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
10	県	絵画	絹本着色桃岳瑞見和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
11	県	絵画	絹本着色釈迦十六善神像 付納箱	1 幅	昭和 60 年 10 月 29 日	極楽寺
12	県	絵画	紙本着色尼子経久像	1 幅	昭和 49 年 11 月 8 日	山口県
13	県	絵画	絹本着色尼子晴久像	1 幅	昭和 49 年 11 月 8 日	山口県
14	県	工芸品	鰐口	1 口	昭和 55 年 4 月 11 日	名田勝子
15	県	考古 資料	茶臼山古墳出土品 画文帯神獣鏡	1 面	平成 7 年 1 月 13 日	山口県
16	県	書跡	手鑑「多々良の麻佐古」	1 帖	令和元年 12 月 6 日	山口県
17	県	考古 資料	御山神社経塚出土品	20 点	昭和 49 年 11 月 8 日	御山神社
18	県	歴史 資料	紙本着色毛利敬親山口新御屋形入居奉祝図	1 面	平成 29 年 5 月 9 日	野田神社
19	県	考古 資料	赤妻古墳出土の舟形石棺	1 基	平成 5 年 5 月 14 日	山口県
20	山口市	彫刻	木造獅子頭 付納箱	1 頭	平成 8 年 2 月 15 日	朝倉八幡宮
21	岩国市	古文書	出師の檄及び長州征伐の記録	1 枚	昭和 50 年 10 月 8 日	讃井知明

(5) 資料の貸出・資料の特別利用の状況(令和5年度)

・資料の貸出

No.	資料名	点数	貸 出 先	期間(会期)
1	サイクロメデューサ(化石レプリカ)他	9	萩博物館	令和5年7月8日 ～9月18日
2	宮ノ洲古墳出土三角縁神獣鏡(レプリカ)他	4	下松市郷土資料展示収蔵施設 「島の学び舎」	令和5年7月22日 ～9月21日
3	絹本着色全岩東純像	1	山口県立美術館	令和5年10月13日 ～12月3日
4	タヌキ剥製 他	8	新興産業きらら浜自然観察公園	令和5年9月16日
5	長門峡探勝古図 他	5	萩博物館	令和5年10月7日 ～12月3日
6	トキ剥製 他	8	北九州市立自然史・歴史博物館	令和6年3月16日 ～5月6日
7	カシワ標本 他	15	防府市青少年科学館	令和6年1月27日 ～3月3日

※令和4年度貸出実績は4件

・資料の特別利用(資料画像データの出版等への利用)

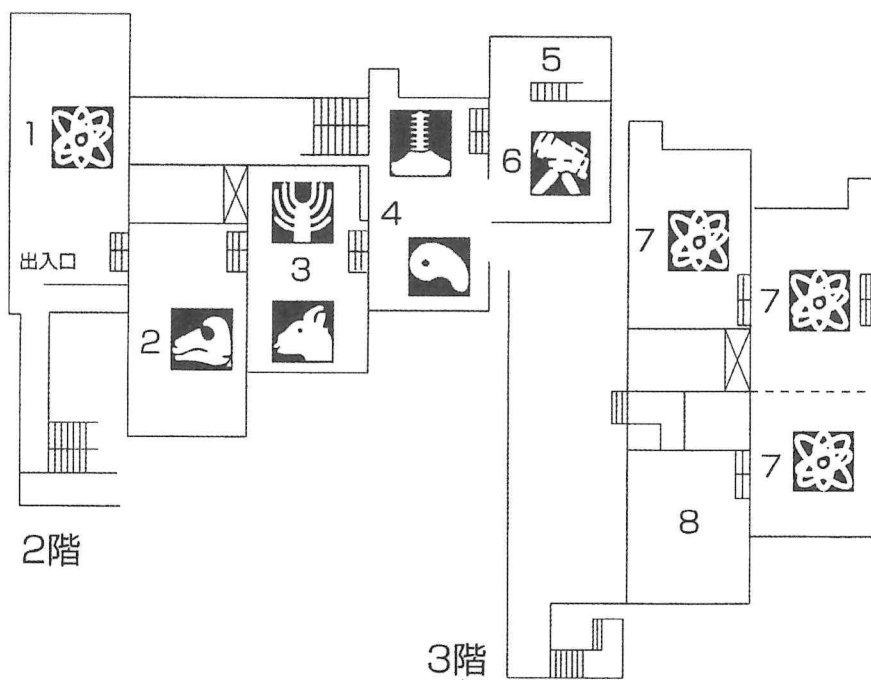
部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
件数	2	7	2	2	0	11	88	0	112
前年度増減	1	△1	0	△1	0	6	△24	△3	△22

※令和4年度特別利用実績は134件

2 資料展示

(1) 展示室案内

1. 2階理工展示室
2. 地学展示室
3. 植物・動物展示室
4. 考古・歴史展示室
5. ロビー
(学習コーナー)
6. 天文展示室
7. 3階理工展示室
8. 特別展示室



展示室風景

(2) 常設展示

・ 令和5年度に変更・追加した資料

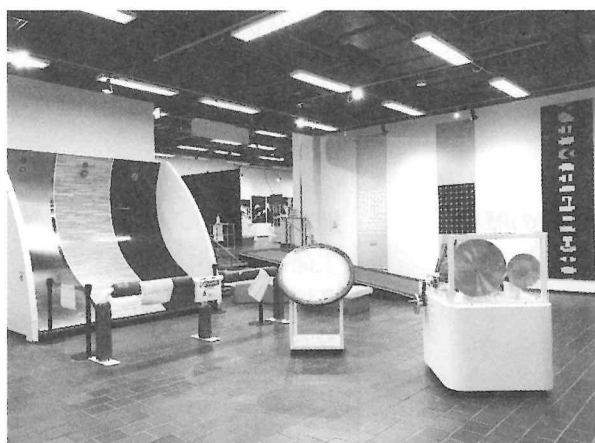
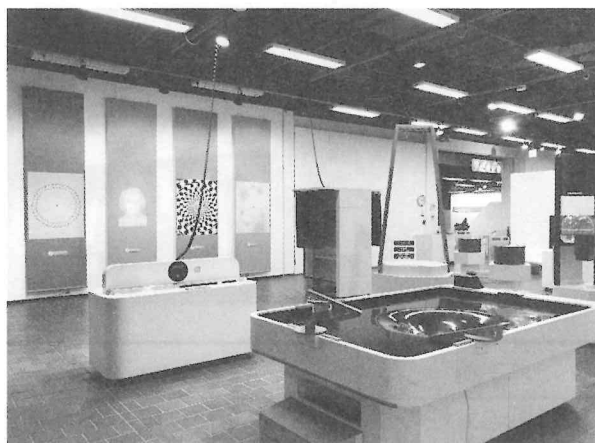
分野 (展示場所)	資料名	概要	時期
理工	「すご技!やまぐち」コーナー (2階)	県内企業の卓越したものづくり技術を体験を通して、子どもにもわかりやすいかたちで展示。 釣り糸バスケット(㈱サンライン(岩国市))、 テンセグリティ(ジャパンファインスチール ㈱(山陽小野田市))、リング自動挿入機(富士 高压フレキシブルホース㈱(光市))などの 体験4点及び各社の技術力を紹介する展示約 30点	10月
地学	菱マンガン鉱、バラ輝石、珪孔雀石、藍 銅鉱	お楽しみ鉱物コーナーに追加	7月
植物	なっとくんの「緑のたより」「季節のた より」	身近な植物を画像やクイズなどで紹介	通年
	植物関連図書	植物関連図書(植物画)、図譜などを展示	通年
	植物ニュース・植物の紹介映像	山口県や周辺地域の植物の記事や生態などを紹 介	通年
動物	サポちゃん通信	動物サポーターの活動報告	年2回
考古	管玉、盾形埴輪、鉄斧	山口市赤妻古墳出土	10月
歴史	明治維新関係資料展示 ① 毛利敬親関係資料 ② 周布政之助・木戸孝允関係資料 ③ 吉田松陰関係資料 防長の絵図	特集展示「明治維新と長州藩」として、関係資 料を随時展示替え。 萩城下町絵図、行程記、芸州吉田郡山絵図ほか	通年
天文	天文ニュース	年4回、天文に関わるニュースの更新	通年

■ 2階理工展示室



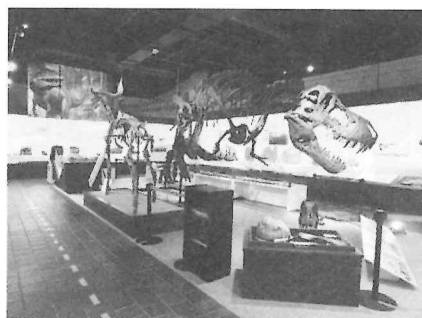
主題	内容	展示資料
ロボットコーナー	車の組み立てや薬剤の仕分けなど行う産業用のロボットの動きを、5つの楽しいパフォーマンスで紹介する。また、かわいらしい動きをするコミュニケーションロボットのプログラミングを通して、ロボット制御を体験する。	垂直多関節形ロボット、スタンプロボット、コミュニケーションロボット 6点
ミニ維新体験館	明治 150 年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして開催した「山口ゆめ花博」会場で好評だった「維新体験館」のVR（バーチャルリアリティ）映像などの主なコンテンツを「ミニ維新体験館」として設置。	幕末維新回廊プロモーションビデオ、松陰先生からのメッセージ、疾風怒濤の歴史ドラマ、VRで参加する幕末・維新の名場面 3点。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、操作体験は不可とした。
すご技！やまぐちコーナー	県内企業の卓越したものづくり技術を体験を通して、子どもたちにもわかりやすいかたちで展示。	釣り糸バスケット、テンセグリティ、0リング自動挿入機などの玩具等約 30 点
くらしのなかのサイエンス	私たちの生活を支えている科学の中から、「発熱」「発光」「発電」の3つのエッセンスを取り上げ、収蔵資料と現在の製品の展示を通して科学技術の進化を紹介する。	小型ロボット「ムッシュ君」、炊飯器カットモデル、有機ELテレビ等実物資料、レプリカなど約 10 点
山口県の産業技術史	山口県の地質や地理的要因を踏まえながら山口県で発展した産業を紹介する。また、日本の近代産業化に貢献した県出身者の業績もあわせて紹介する。	「明治日本の産業革命遺産」紹介映像、D51137 機関車模型、凌雲閣エレベータ模型、耐熱フィルム、耐熱繊維コーネックスなど 15 点
未来都市模型	太陽光発電や風力発電など環境にやさしい石油代替エネルギーの紹介や未来の乗り物の操作体験。	リニアモーターカー、太陽光導入システム、太陽光発電大賀模型、石油代替エネルギー解説装置

■ 3階理工展示室



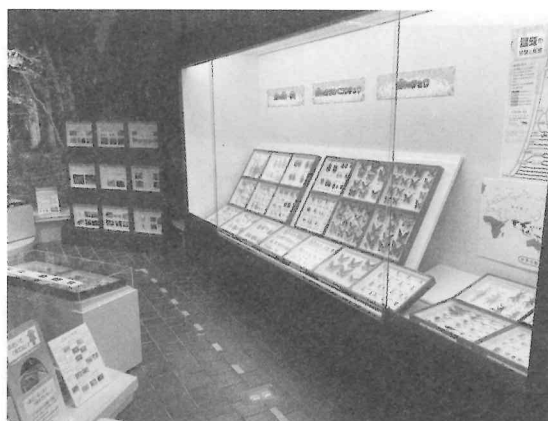
主題	内容	展示資料
体験学習コーナー	子どもから大人まで楽しめるシンプルで独創的なアナログ体験資料で体や頭を使って、楽しみながら自然界や法則や原理を体験。	スイングバイテーブル、どれくらいテーブル、ゾートロープなど体験展示資料、約 20 点。
JAXA コーナー	JAXA 提供の人工衛星や宇宙利用・宇宙開発関係の写真やイラストを展示。また人工衛星などの館蔵資料もあわせて展示。	写真及びイラストパネル 13 枚、人工衛星模型。
山口線運転シミュレータ	実物機器を備えたディーゼルカーの運転席でハンドルやブレーキを操作することができ、操作にともない、山口線ワイドパノラマ映像のスピードや音が変化することで、本物と同様の列車運転が体験できる。	キハ 58 型ディーゼルカー運転席、130 インチワイドスクリーン、路線機器、路線データモニターテレビ、制御機器、機器説明パネルなど

■ 地学展示室



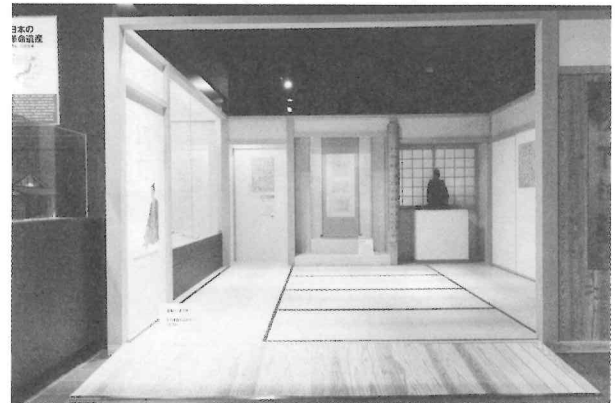
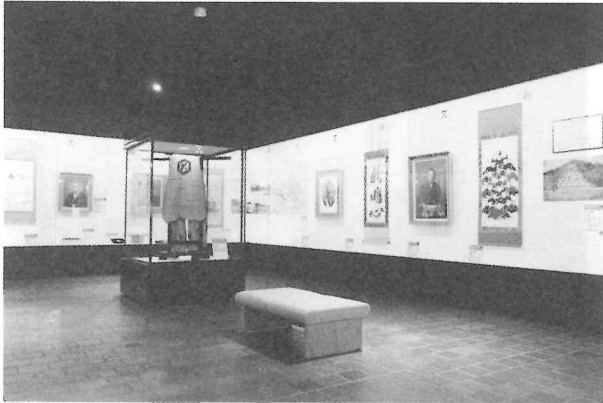
主題	内容	展示資料
山口県の大地の生い立ち	古生代の山口県のようすを紹介 中生代の山口県のようすを紹介 新生代の山口県のようすを紹介	県内最古の岩石 2 点、海底火山の岩石 1 点、ウミユリなど化石を含む石灰岩 25 点 美祢層群産化石資料など 16 点、火成岩資料 9 点、変成岩 8 点 スサガメなど化石資料 23 点、ホルンフェルスなど岩石資料 5 点
地球の歴史	地球の誕生 生命の誕生 真核生物の誕生 酸素の発生 多細胞生物の誕生 魚類の時代 両生類の時代 森林の時代 は虫類の時代 鳥類の時代 ほ乳類の時代	隕石 1 点、最古の岩石 2 点 ピルバラのチャート 1 点 グリパニア 1 点 縞状鉄鉱石 1 点 エディアカラ生物群（複製） 5 点 バージェス動物群（複製） 2 点 クラウディナ、クックソニア各 1 点 シーラカンス、ボトリオレピス、アカントーデス各 1 点 ディスコサウリスキス 1 点 ロボク、リンボク、フウインボク各 1 点 ディメトロドン（複製）、ブラジロサウルス、プレシオサウルス（複製）、コンプソグナトウス（複製）、ティラノサウルス（複製） 1 点 始祖鳥（複製） 1 点 ヤベオオツノジカ（複製） 1 点、ヒト頭骨（複製） 5 点
その他	山口県の石 山口県の地震 山口県の火山 タッチ化石 おたのしみ鉱物 主に顕生代における生物の出現と絶滅、大陸移動について記した年表 やまぐちの大地の成り立ちアニメ クジャク石から銅を取り出そう動画 花崗岩の薄片製作・偏光顕微鏡像動画	石灰岩 1 点、美祢層群の植物化石 1 点、銅鉱石 1 点 プレート模型 2 点 火山岩など 11 点 恐竜実物化石 2 点 鉱物 10 点 地球史年表（生物の進化編） モニター モニター、パネル モニター

■ 植物・動物展示室



主題	内容	展示資料
山口県植物相のなりたち 山口県の動物	県内植物の4つのルーツを示すとともに、帰化植物の現状を紹介する。 山口県内に生息する代表的な哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類等を紹介する。	レプリカ、標本など約30点 哺乳類剥製 15点、鳥類剥製 45点、両生類・爬虫類レプリカ 20点、昆虫類標本約1,000点
山口県の植物	山口県内各地や博物館周辺の植物の情報を画像や映像、解説、4コマ漫画などで紹介する。	緑のたより（山口県版、博物館周辺版他）、緑の小話、季節のたより、花巡り（県外編）植物ニュース、植物クイズなど
山口県の植物・動物ジオラマ	山口県の特徴的な植物相（フローラ）・動物相（ファウナ）を6シーン1／1のジオラマで紹介する。 ・海浜 ・市街地 ・河岸・ため池 ・草地 ・里山 ・深山	・ハマボウ・ハマオモト他 全5種 ・イソシギ・カブトガニ他 全8種 ・コバンソウ・マツヨイグサ他 全8種 ・ミシシippアカミミガメ他 全7種 ・キシツツジ・ホテイアオイ他 全7種 ・アカザ・カワセミ・マシジミ他全20種 ・アカネスゲ・オキナグサ他 全7種 ・ニホンアナグマ・キジ他 全5種 ・スダジイ・ギンリュウソウ他 全19種 ・タヌキ・モリアオガエル他 全32種 ・ブナ・カタクリ他 全12種 ・ツキノワグマ・ヤマネ他 全24種 植物合計 61種 動物合計 96種

■ 考古・歴史展示室



主題	内容	展示資料
はじめての考古学	小・中・高等学校の教科書にも登場する縄文・弥生・古墳時代の考古資料を中心にわかりやすく展示・解説している。	板状土偶、石棒、石鏃、磨製石斧、石包丁、銅鏡、馬具、短甲、勾玉、紡錘車、須恵器、耳環（展示替えあり）
明治維新と長州藩	明治維新関係資料を特集展示。特に、松下村塾コーナーでは、門下生関係資料を随時紹介。	萩城下町図屏風、毛利氏歴代肖像、毛利敬親肖像、来島又兵衛肖像、周布政之助所用陣羽織・袴、吉田松陰書簡、木戸孝允所用硯箱ほか（展示替えあり）
絵図で見る防長の街道	館蔵の街道絵図と各街道をパネルで紹介	行程記（萩～山口部分）

■ 天文展示室



主題	内容	展示資料
太陽系運行模型	8つの惑星が実際の公転時間の比率どおりに、太陽の周りを回り、各惑星の特徴についても、画像を使いわかりやすく解説する。	動く惑星の模型（直径4m）、モニター12台
太陽系と隕石	太陽系が生まれて、現在の姿になるまでの歴史をたどるとともに、隕石についても解説する。	隕石12点（うち2点は山口県内落下の隕石）、隕石レプリカ2点、写真5点、イラスト5点、玖珂隕石投影装置
宇宙の構成	太陽系・銀河系・銀河系外の宇宙へと、スケールを変えて繋がる宇宙の広がりを紹介する。	惑星等の模型9点、写真13点、イラスト5点、フーコーの振り子
天文学の歴史	山口博物館が収蔵している天体観測機器など、天文学史に関する資料を展示。	山口博物館の収蔵資料（実物）3点、写真7点
天文ニュース	日食、惑星、季節の星座など天文現象に関する話題・予報をイラスト・写真等を使用し、紹介する。	主な天文現象の解説記事6点
山口の星空	山口県から見ることができる星空を、大型蛍光星座板で展示。	2.6m×7.5mの大型蛍光星座板
JAXA コーナー	JAXA 提供の月面及び小惑星探査機（はやぶさ2）帰還の映像を大型ディスプレイで上映する。	モニター（55インチ） リュウグウサンプルのレプリカ

■ 天体観測室

本館の4、5階が天体観測準備室、天体観測室（アストロ光学 5mドーム）となっている。20cm屈折赤道儀（ニコン社製）を設置し、天文部門の教育普及活動・調査研究に使用している。



■ 屋外展示

<考古分野>

- 箱式石棺 山口市大内川向 (弥生時代) 2 基
- 舟形石棺 山口市赤妻 (古墳時代) 1 基
- 大坂城築城石材 周南市大津島 (江戸時代) 1 点

- 山口市赤妻古墳出土の^{くりぬき}刳抜式舟形石棺
1908（明治 41）年の土取作業時に発見された。山口県下唯一の例で、1993（平成 5）年に県の有形文化財に指定。

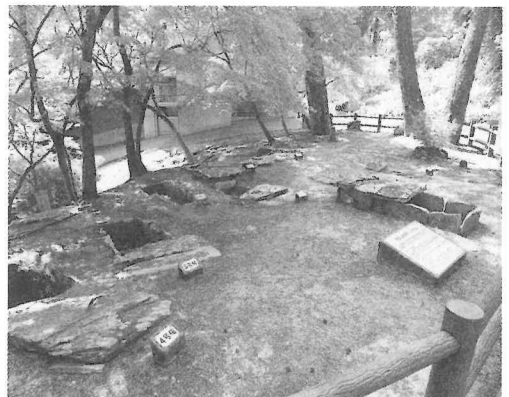
巨大な砂岩を刳抜いて作られたもので、全長 231 cm、最大幅 98 cm、全高 60 cm、蓋に 4、身に 2（うち 1 欠損）の縄掛突起を持っている。

山口盆地を統率した女性首長の棺と推定されている。



- 山口市白石茶臼山石棺群

遺跡は山口盆地中央部に延びる鴻ノ峰山麓南支丘末端部、標高約 35m の位置に立地していた。1968（昭和 43）年の住宅造成中に総数 9 基の箱式石棺が発見され、調査後、すべての遺構が当館敷地に移築復元された。弥生時代終末期～古墳時代前期における墳墓形態の変遷が見学できる。



<理工分野>

- D60 形式 1 号機関車

この機関車は、1927（昭和 2）年に川崎造船所で誕生し、東海道本線や山陽本線などで活躍していた D50 型機関車の改造車で山口県の旅客・貨物輸送を最後に 1966（昭和 41）年廃車になった。

博物館では、この由緒ある機関車を 1968（昭和 43）年 9 月に当時の国鉄から借り受け、屋外展示をしている。



<地学分野>

○山口県の化石

特牛の貝化石（新生代） 下関市
吉母の貝化石（中生代） 下関市
秋吉台の石灰岩（古生代） 美祢市

○山口県の岩石

斑れい岩（萩市）、安山岩（萩市）、凝灰岩（萩市）、花崗岩（山口市）、砂岩（美祢市）、泥岩（下関市）、石灰岩（美祢市）、チャート（岩国市）、片岩（山口市）、片麻岩（岩国市）



<植物分野>

○樹木プレート（ミニ植物園）

博物館の敷地内とその周辺（春日山）の散策路に代表的な樹名の解説プレートを45枚（2022年度末現在）設置し、ミニ植物園として、樹木の名前と簡単な特徴の解説をしている。



「やまぐち大考古博 — みよう、ふれよう、やまぐちの3000年 —」

1 趣旨

山口県は、東アジアと日本列島の海上交通を結ぶ要であり、この地には人々の往来と文化の交流による歴史が積み重ねられてきました。

約3000年前に始まった弥生時代。土井ヶ浜遺跡の人骨や貝製品、梶栗浜遺跡の細形銅剣、地蔵堂遺跡の蓋弓帽など響灘沿岸には、中国大陆や朝鮮半島からの渡来文化の影響を受けた人々の墓や青銅器などが残されています。

古墳時代には前方後円墳が瀬戸内海沿岸に集中して築造されました。柳井茶臼山古墳や白鳥古墳、天王森古墳などから出土した銅鏡や埴輪は、瀬戸内海ルートを重視したヤマト王権との強いつながりをあらわしています。

古代の周防・長門は、産業の先進地でした。長登銅山の開発とともに、8世紀には長門鑄銭所跡、9世紀には周防鑄銭司跡において和同開珎をはじめとする貨幣が鑄造されています。

室町時代、畿内・西国の覇権を握った大内氏によって、山口は繁栄を極めました。全国でも希少な金箔かわらけや朝鮮半島産の陶磁器は、大内氏の強大な政治権力と豊かな国際性を伝えるものです。また、江戸時代の城下町萩では、萩城跡や郡司鑄造所が発掘され、世界遺産の構成資産となっています。

以上のような、山口県の歴史、文化を楽しむ展覧会「やまぐち大考古博」の開催によって本県各地域の魅力を県内外に伝えることをめざします。

2 主催

山口県、山口県教育委員会、「やまぐち大考古博」実行委員会（山口県立山口博物館、公益財団法人山口県ひとづくり財団、地方独立行政法人山口県産業技術センター、一般社団法人山口県観光連盟、山口朝日放送株式会社、株式会社みなと山口合同新聞社）

3 共催

山口県埋蔵文化財センター

4 特別協力

独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
（国立博物館収蔵品貸与促進事業の支援を受けて実施）

5 協力

山口考古学会、国立大学法人山口大学埋蔵文化財資料館、山口県立山口図書館、山口県文書館、下関市教育委員会、宇部市教育委員会、山口市教育委員会、萩市、萩市教育委員会、防府市、防府市教育委員会、下松市教育委員会、岩国市、岩国市教育委員会、光市教育委員会、長門市教育委員会、柳井市教育委員会、美祢市教育委員会、周南市教育委員会、山陽小野田市教育委員会、周防大島町教育委員会、和木町教育委員会、上関町教育委員会、田布施町教育委員会、平生町教育委員会、阿武町教育委員会、下関市立歴史博物館、下関市立考古博物館、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、萩博物館、岩国徴古館、周南市美術博物館、山口県地方史学会、山口県文化財愛護協会

6 後援

NHK山口放送局、エフエム山口、山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社

7 会期

令和5年7月21日(金) ～ 令和5年9月3日(日)
(休館日 月・火曜日 ただし、7月24日(月)、8月14日(月) 8月15日(火)は開館)

8 会場

山口県立山口博物館 3階展示室

9 観覧料

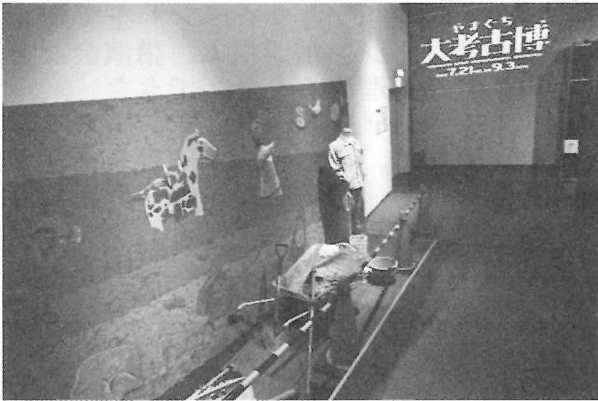
一般 1,000円、学生・シニア（70歳以上）650円、18歳以下の方および高等学校、中等教育学校、総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料

10 展示

本展覧会は、当館にとって43年ぶりの考古部門の特別展となったため、山口県における考古学の最新情報を広く発信する重要な機会と位置づけ、企画・準備を進めた。また、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センターの「国立博物館収蔵品貸与促進事業」の採択を得て、当館として初めて東京国立博物館から13件の資料を借用することができた。

1 プロローグ

スロープ壁面に発掘調査現場の風景をイメージした土層パネルやスコップ・一輪車などの機材を展示した（写真1）。正面には県内の主要な遺跡を照会する写真スライドを映写し、近年の注目資料である下松市出土の埴輪群を特設ケースに配置した。



2 時代別の展示

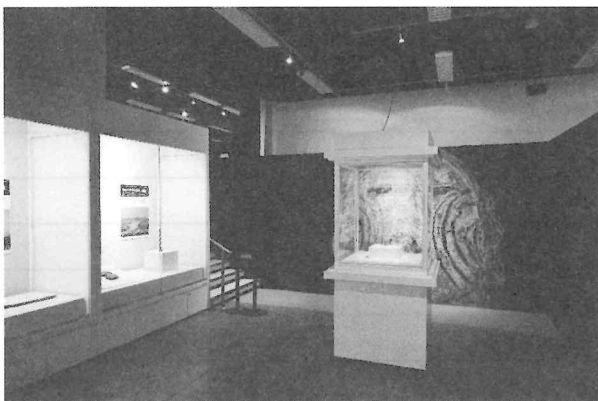
(1) 東アジア交流と弥生人の到来

弥生時代の響灘沿岸において、中国大陸・朝鮮半島・南西諸島などからの渡来文化の影響が極めて強く見受けられることに着目し、テーマを設定した。土井ヶ浜遺跡で出土した南西諸島産のゴホウラやイモガイ製の腕輪・マキガイ製の指輪、梶栗浜遺跡の細形銅剣・多紐細文鏡、地蔵堂遺跡の蓋弓帽・連弧文精白鏡、宇部市沖ノ山出土の半両銭・五銖銭・朝鮮系無文土器甕、綾羅木郷台地遺跡の人面土製品・土笛（陶埴（とうけん））などを展示した。

(2) ヤマト王権と瀬戸内の古墳

ヤマト王権と各地の首長との政治的関係を示す古墳が瀬戸内海側に集中することや、中期には山口盆地に首長墓が出現する点を重視し、テーマを設定した。柳井茶臼山古墳の舶載画文帯神獣鏡・仿製八弧内行花文鏡、白鳥古墳の倣製鏡・鉄斧など、天神山1号墳の長方形革綴短甲、赤妻古墳の舶載二神二獣鏡・巴形銅器・位至三公鏡・倣製五弧内行花文鏡・振文鏡などを展示した。

(3) 古代産業の先進地、周防・長門



奈良時代以降、周防・長門では豊富な地下資源をもとに新たな産業が大きく発展した点に注目しテーマを設定した（写真4）。長登銅山跡出土の木簡をはじめ、長門鑄銭所跡の和同開珎鑄型・和同開珎、周防鑄銭司跡の長年大宝、周防国府跡や国分寺出土の緑釉陶器碗・瓦などを展示した。

(4) 「西の京 山口」から世界遺産 萩城下町へ

室町時代、畿内・西国の覇権を握った大内氏によって整備された山口、大内氏滅亡後に毛利氏が本拠地とした萩を中心に据えてテーマを設定した。大内氏館跡の金箔かわらけ・朝鮮白磁耳杯、乗福寺跡の龍文滴水瓦・鳳凰文軒丸瓦、萩城跡（外堀地区）の陶磁器や生活道具を展示した。

(5) みよう、ふれよう、考古博

展示全体の振り返りや最新技術を含む活用を目的として、発掘調査の写真や3Dホログラム展示、学習教材を活用した体験コーナーを設けた。

11 関連企画

県内の教育委員会、文化財関係機関等の協力を得て23件の関連イベントを実施した（表1）。展覧会の会期を中心に、関連展示、体験講座、シンポジウム、講演会などを各所で実施したことで、県内全域での連携した取り組みを進めることができた。

実行委員会では、特別展PR動画のYoutube配信、スペシャルトーク、シンポジウム、スタンプラリー、「はにわづくり」キット配布を実施した。また、展示内容を基本として、山口県における考古学の成果を伝える記念誌を刊行し、学術的な情報を形にして公開することに努めた。

主催	名称	場所
山口大学埋蔵文化財資料館	連携企画展「山口大 考古博」	山口大学埋蔵文化財資料館
下関市立考古博物館	発掘速報展「掘ったほ! 下関2023」×山口県埋蔵文化財センター巡回展「発掘された山口」	下関市立考古博物館
下関市立考古博物館	夏休み“ものづくり体験” ①土笛づくり、②勾玉づくり、③土器文様ペンダントづくり、④堅穴住居模型づくり	下関市立考古博物館
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	土井ヶ浜遺跡発掘調査70周年・人類学ミュージアム開館30周年記念企画展「新説・土井ヶ浜弥生人」	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	土井ヶ浜遺跡発掘調査70周年・人類学ミュージアム開館30周年記念フォーラム 「埋蔵文化財（歴史遺産）を活用した街づくり、地域づくりで、未来をつくる」	下関市教育センター
宇部市教育委員会	夏休み考古学企画「勾玉を作ろう！」	学びの森くすのき 市民交流室
宇部市教育委員会	夏休み展示企画 「宇部市の焼き物の歴史」	学びの森くすのき 展示室
山口市教育委員会	スポット展示「発掘からわかる中世の山口」	山口市歴史民俗資料館
山口市教育委員会	文化財教室「遺跡の発掘と銭づくり体験」	史跡周防鑄銭司跡及び鑄銭司郷土館
山口市教育委員会	文化財教室「製塩土器と塩づくりの体験」	山口市秋徳地域交流センター
萩市	大井天長山古墳出土遺物 萩市里帰り展	萩市大井公民館地域学習室
防府市	周防国府の策づかい・息づかい	防府市文化財郷土資料館 スポット展示室
下松市教育委員会	埴輪を作ろう！	ほしらんどくだまつ 工作・工芸室
下松市教育委員会	企画展「破片でみる古代の息吹」	島の学び舎
岩国市	玖西盆地の弥生時代・古墳時代	玖珂あいあいセンター（清水遺跡展示室）
光市教育委員会	勾玉・埴輪づくり体験講座	周防の森ロッジ（光市野外活動センター）
長門市教育委員会	石器から鉄器へ	長門市総合文化財センター（ヒストリアながと）
柳井市教育委員会	黒島浜遺跡と与浦遺跡	しらかべ学遊館
周南市教育委員会	夏休み まが玉づくり体験	周南市教育委員会 港町庁舎
山陽小野田市教育委員会	「やまぐち大考古博」連携講演会	山陽小野田市民館
田布施町教育委員会	「大波野 字納蔵の古墳展」	田布施町郷土館
山口県埋蔵文化財センター	「ほっちよる山口」夏季特別展示	山口県埋蔵文化財センター
山口県埋蔵文化財センター	勾玉作り体験会	山口県埋蔵文化財センター

表1 県内関連イベントの一覧

令和5年度企画展「音ってなあに？」開催要項

1 趣 旨

音の正体って何でしょう。その不思議な性質に疑問をもった昔の人たちは、楽器が音を奏でる様子やさまざまな実験を通して音の正体について考えてきました。

本展覧会では、遠くまで声を届ける伝声管や、エコーがかかったように音色が変わるばね電話の音などを聞いたり、オシロスコープや音によって振動する膜上の粒子が描く図形（クラドニ図形）で音の波形を観察したりすることで、楽しみながら音の正体に迫ります。

また、私たちの生活を豊かで便利にしてきたオルガンやレコード、蓄音機など、音に関する収蔵資料を通して、これらの道具や機器の仕組みや特性を紹介します。

2 会 期

令和5(2023)年4月27日(木)～令和5年6月11日(日) (休館日 毎週月曜日)

3 会 場

山口県山口市春日町8番2号 山口県立山口博物館 3階展示室

4 観覧料

常設展入館料に含まれます(一般 150円、学生 100円) (18歳以下及び70歳以上、小・中・高等学校、中等教育学校、総合支援学校(特別支援学校)に在籍する児童生徒は無料)

5 展示内容

1 章 音ってなあに ～音の正体～

音の正体って何でしょうか。音の正体を明らかにしてきた歴史的な実験を紹介、解説しながら、音の正体に迫ります。

2 章 音を出すもの、記録するもの ～音を伝える道具など～

楽器やレコードなど音を奏でたり、記録したりする道具は、私たちの生活を豊かで便利にしてくれました。この章では、オルガンやレコード、蓄音機などの収蔵資料を通して、これらの道具や機器の仕組みや特性を紹介します。

3 章 音であそぼう！

エコーがかかったような声色に変わるばね電話、音の正体である振動の様子をあらわすオシロスコープやクラドニ図形など、音の楽しみ方はたくさんあります。いろいろな方法で音を表現して遊んでみましょう。



サイエンスやまぐち 2023

開催報告

1 趣 旨

児童生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることをめざすもの。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会、山口県小学校教育研究会理科部、山口県中学校教育研究会理科部、山口県高等学校教育研究会理化部会、山口県高等学校教育研究会生物部会

4 会 期 令和5年10月27日(金)～11月12日(日) (15日間開催) (開場時間 9時～16時30分 入場は16時まで) ※10/27(金)は総合開会式後に開場 10/30(月)、11/6(月)は休館日

5 会 場 山口県立山口博物館 (山口市春日町8-2)

6 観覧料 常設展入館料に含む。一般 150円(団体 120円)、学生 100円(団体 80円)。 18歳以下及び70歳以上、小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する児童生徒は無料。団体は20名以上。(教育・文化週間中の11月1日(水)～7日(火)は、すべての入館者が無料。)

7 内 容

児童生徒の研究成果を顕彰する取組として、科学作品展と科学研究発表会を開催する。また、開催初日には総合開会式(表彰)を行う。

(1) 第77回山口県科学作品展

自然の部 県内の児童生徒が行った自然に関する観察・実験などの研究物
159点

創造の部 県内の児童生徒が創意工夫した生活用具や遊び道具など 39点

審 査 令和5年10月11日(水)

(2) 第77回山口県科学研究発表会

県内の児童生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査する。入賞作品は科学作品展の会場で公開する。

審 査 令和5年10月12日(木)

(3) 総合開会式(表彰)

科学作品展と科学研究発表会の優秀作品の表彰と、受賞者本人による解説を実施する。

日 時 令和5年10月27日(金) 10:00～10:30

開催要項

1 趣 旨

手鑑「多々良の麻佐古」（山口県指定有形文化財）は、大内弘世（14世紀中頃）から大内義長（16世紀中頃）に至る、大内氏歴代の文書24点のほか、関係寺院、家臣の発給文書、和歌など計55点を収録した文書集です。

編者は、元長州藩士で、明治期に宮内省の要職を歴任した、杉孫七郎（1835～1920）です。この杉家は、大内氏の譜代家臣である杉氏の惣領家にあたり、豊前の守護代を世襲しました。この手鑑は、能書家としても知られる孫七郎が、かつての主家である大内氏の書跡を蒐集し、文書集に仕立てたものです。ちなみに、標題の「多々良」は大内氏の本姓であり、大内氏ゆかりの書跡を真砂（まさご、細かい砂）に例えたものです。

本展を通じて、大内弘世から義長に至る大内氏歴代当主の文書の魅力をご堪能ください。

※手鑑＝古人の書状や和歌などの書跡を集めて、鑑賞用に仕立てたもの。

※収載文書の年代＝正平12年（1357年）7月13日～永祿10年（1567年）11月16日

2 会 期 令和5年11月23日（木・祝）～令和6年2月4日（日） ※展示替えあり
9:00～16:30（入館は16:00まで）

前 期＝令和5年11月23日（木・祝）～12月24日（日）／後期＝令和6年1月5日（金）～
2月4日（日）

休館日＝月曜日（祝日の場合は翌日）、令和5年12月28日～令和6年1月4日。令和5
年12月25日～27日は展示替えのため閉展。

3 会 場 山口県立山口博物館

4 主 催 山口県立山口博物館

5 観 覧 料 常設展観覧料に含む（一般 150円、学生 100円）
＊70歳以上、18歳以下の方及び高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学
校）等に在学する児童生徒は無料。

6 出品資料 22点（前期11点、後期11点）

7 関連講座

【歴史講座】 企画展「手鑑『多々良の麻佐古』」展示ガイド

日 時： 令和5年12月2日（土） 13:30～15:00

講 師： 元山口県文書館専門研究員 和田 秀作 氏

会 場： 山口県立山口博物館 別館講座室

定 員： 30名（要申し込み）

受講料： 無料

8 問い合わせ先

山口県立山口博物館（担当・山田）

〒753-0073 山口市春日町8-2

電話(083)922-0294／FAX(083)922-0353

<https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>

県内産業技術展示 「すご技！やまぐち」開催要項

- 1 趣 旨 当館では、ものづくりの素晴らしさと県内企業の高い技術力を知ってもらうことを目的に、令和2年度から「すごいおもちゃコーナー」を開設し、子どもたちを中心とした多くの県民の皆様に3期12社のものづくり企業の技術力に触れていただきました。
今年度より、幅広く県内企業の皆様の技術力を御紹介できるように、「すご技！」をコンセプトとして本コーナーへとりニューアルした「すご技！ やまぐち」コーナーを、10月19日(木)より開設します。
当日は、出展いただいた企業の皆様にお越しいただき、出展製品の紹介や体験会を行うスタートイベントを開催することで、子どもたちはもとより、より多くの県民の皆様に県内企業の高い技術力を知っていただく機会とします。
- 2 主 催 山口県教育委員会
(公財) やまぐち産業振興財団
- 3 展示開始日 令和5年10月19日(木)
展示期間は約1年間。その後に展示資料・企業の入替えを行う予定。
- 4 展示場所 山口博物館 2階理工展示室 「すご技！やまぐち」コーナー
- 5 展示内容 県内企業の高い技術でつくった子どもにも技術力の高さがわかるように工夫されたユニークな製品。
- 〈その他の特徴〉
◇各企業の活動や技術力等もパネルを紹介します。
◇各企業の技術を活かした関連製品や取組も展示します。
◇原則、毎月第4日曜日に展示企業様にユニークな製品の体験会を開催していただき、技術力の高さや製品のすばらしさに触れてもらう機会を設けます
- 6 観 覧 料 常設展示の観覧料に含まれます。
- 7 そ の 他 来館前に必ず当館ホームページで最新情報（開館日、入館方法など）をご確認ください。

8 スタートイベント

(1) 内容

出展企業による展示資料の説明
県教育委員会からのお礼
出展製品の解説・体験 ほか

(2) 場所 2階理工展示室 「すご技！ やまぐち」コーナー

- 9 問い合わせ先 〒753-0073 山口市春日町8-2
山口県立山口博物館 担当：漁（いさり）剛志
TEL 083-922-0294



山口博物館

検索

コーナー展示「ミニ天体写真展」

開催要項

1 趣 旨

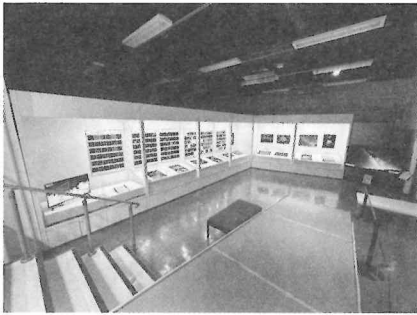
山口博物館では、学芸員や天文サポーターがさまざまな活動をしています。星々の美しさや魅力を伝えるために写真撮影にも取り組んでおり、その成果をコーナー展で天体写真のパネルや映像などを用いながら紹介します。展示をとおして宇宙について興味を持っていただければ幸いです。

2 会 期 2023年11月25日(土)～2024年2月4日(日) 56日間開催
9:00～16:30 (入館は16:00まで、毎週月曜日休館)

3 会 場 山口県立山口博物館 3階講堂

4 展示内容

山口博物館学芸員や天文サポーターが撮影した天体写真21枚とYoutubeの天文チャンネルやバーチャル収蔵庫、星空タイムラプス動画などを映像で紹介した。



コーナー展示「ちょこっと鉱物展」

開催要項

1 趣 旨

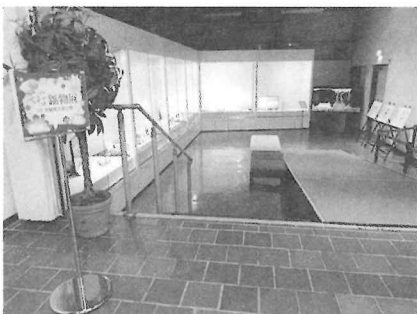
宇部日報で連載中の「ほっとやまはくタイム」で紹介した鉱物を展示します。また、昨年度の企画展「カラフル鉱物大集合」で展示した鉱物から、ちょこっとだけピックアップして展示します。

2 会 期 2024年2月23日(金)～2024年4月7日(日) 45日間開催
9:00～16:30 (入館は16:00まで、毎週月曜日休館)

3 会 場 山口県立山口博物館 3階講堂

4 展示内容

宇部日報で連載中の「ほっとやまはくタイム」で紹介した鉱物、昨年度の企画展「カラフル鉱物大集合」で展示した鉱物から抜粋、今回初展示の鉱物、化学反応の様子を撮影した映像



(1) 調査研究課題

天文学部門

岩村 和政

- 山口県内の天文資料・落下隕石・古天文機器調査
- 天文展示資料、教育普及活動についての調査研究
- 大型望遠鏡を活用した天体写真や映像配信に関する調査研究

地学部門

赤崎 英里

- 山口県の岩石資料調査
- 岩石・鉱物の有効な展示方法についての研究

植物学部門

杉江 喜寿

- 山口県産植物の分布・生態調査
- 収蔵資料のデータベース化
- 植物資料の効果的な展示や博物館教育及び教育普及活動への活用についての研究

動物学部門

田中 浩

- 山口県内に生息する哺乳類の生息分布・生態調査
- 山口県内の動物の生息分布調査及び標本。文献、情報のデータ化
- 山口県における中型食肉目の社会構造・生態および競合関係の解明

考古学部門

阿部 来

- 山口県内の遺跡に関する調査・研究
- 歴史時代の考古資料に関する研究
- 考古分野の効果的な展示や活用、教育普及活動についての研究

歴史学部門

山田 稔

- 長州藩絵図方に関する調査研究
- 近世防長の街道関係資料調査
- 歴史分野における古文書の効果的な展示方法に関する研究

理工学部門

漁 剛志

- 山口県の産業に関する調査・研究
- 科学技術史に関する調査・研究
- 固体表面物性に関する最新動向調査

(2) 研究発表・著作

岩村 和政

- 2023. 9 「星空に異変!？」サンデー山口（9月6日号）
- 2023. 10 「十三夜のお月見」宇部日報（10月25日号）
- 2024. 1 「スマホで天体写真」宇部日報（1月24日号）
- 2024. 3 「山口県立山口博物館の望遠鏡資料について」山口県立山口博物館研究報告第50号

赤崎 英里

- 2023. 11 「日本の国石「ひすい」」サンデー山口（11月1日号）
- 2023. 11 「鉱物の楽しみ方ガイド②水晶の仲間」宇部日報（ほっとやまはくタイム51：11月8日掲載）
- 2024. 3 「鉱物の化学的・物理的性質を学ぶ二つの教育普及講座 ―「鉱物テラリウムをつくろう」「岩石・鉱物をみがいてみよう」― 山口県立山口博物館研究報告 第50号
- 2024. 3 「最新 地学事典」地学団体研究会 編（1項目執筆）

杉江 喜寿

- 2023. 9 「山口県の植物さんぽ（4）秋吉台（秋の初め頃）編」宇部日報（ほっとやまはくタイム47：9月13日掲載）
- 2024. 2 「山口県の植物さんぽ（5）貴重なミカンのなかま編 宇部日報（ほっとやまはくタイム57：2月7日掲載）
- 2024. 2 「リンドウと竜の関係」サンデー山口（2月7日号）
- 2024. 3 「山口県の植物さんぽ（6）国の天然記念物（山口市）編」宇部日報（ほっとやまはくタイム59：3月6日掲載）
- 2024. 3 「牧野富太郎博士と山口博物館」サンデー山口（3月6日号）
- 2024. 3 「山口県立山口博物館所蔵の植物標本（明治時代 その2）」山口県立山口博物館研究報告 第50号

田中 浩

- 2023. 6 「シリアゲムシ」サンデー山口（6月8日号）
- 2023. 9 「樹上で活動する哺乳類」宇部日報ほっとやまはくタイム48（9月27日掲載）
- 2023. 10 「森の住人 ヒメネズミ」サンデー山口（10月4日号）
- 2023. 12 「巣穴暮らしのアナグマ」宇部日報ほっとやまはくタイム54（12月20日掲載）
- 2024. 3 「里山の春を楽しむ」宇部日報ほっとやまはくタイム60（3月22日掲載）
- 2024. 3 「山口県立山口博物館収蔵のコブスジコガネ科とコガネムシ科標本の再同定」山口県立山口博物館研究報告 第50号
- 2024. 3 「山口県からのヤマトナガヒラタムシの新記録と県産ナガヒラタムシ科の分布」山口県立山口博物館研究報告 第50号

阿部 来

2023. 4 「里帰り展示で石棺に収められた品々を一つに」サンデー山口（4月5日号）
2023. 4 「夏の特別展「やまぐち 大考古博」」宇部日報（ほっとやまはくタイム36：4月5日掲載）
2023. 6 「日本遺産「福井・勝山石がたり」」と石の研究 『日引』第18号 石造物研究会
2023. 7 「初出土、初公開の巫女形埴輪」サンデー山口（7月5日号）
2023. 7 「資料解説 伝長門鑄銭所跡、御山神社経塚、大向門前遺跡」『やまぐち大考古博』
2023. 8 「大内氏が酒を注いだ、金箔のかわらけ」サンデー山口（8月2日号）
2024. 3 「2023年度特別展「やまぐち大考古博一みよう、ふれよう、やまぐちの3000年一」開催報告」『山口県立山口博物館研究報告』第50号

山田 稔

2023. 6 令和4年度東岐波郷土誌研究会文化歴史講演会特別寄稿「江戸時代の旅と街道」（喜和 創立70周年記念特別号・第123号）
2023. 10 「山口博物館所蔵幕末維新資料ガイド①」宇部日報ほっとやまはくタイム④⑨（10月11日掲載）
2023. 11 山口県地方史学会創立70周年記念大会シンポジウム発表「吉敷毛利氏の残影ーその文化財的アプローチからー」（県立山口図書館、11月26日）
2023. 12 「企画展・手鑑「多々良の麻佐古」」サンデー山口おもしろ小箱No.248（12月7日号）
2023. 12 「企画展手鑑「多々良の麻佐古」中世大名大内氏文書の粹①」（宇部日報ほっとやまはくタイム52（12月6日掲載）
2024. 1 「大内政弘と和歌」サンデー山口おもしろ小箱No.249（1月4日号）
2024. 3 「山口県立山口博物館所蔵幕末維新関係資料ガイド5」（山口県立山口博物館研究報告第50号）

漁 剛志

2023. 5 「企画展「音ってなあに？」を開催します」サンデー山口（5月3日号）
2023. 5 「企画展「音ってなあに？」がオープンしました」宇部日報ほっとやまはくタイム38（5月1日掲載）
2023. 5 「企画展「音ってなあに？」がオープンしましたpart 2」宇部日報ほっとやまはくタイム39（5月15日掲載）
2023. 8 「解体シリーズ 昔の検流計」宇部日報ほっとやまはくタイム46（8月21日掲載）
2023. 11 「「すご技！やまぐち」コーナーがオープンしました」宇部日報ほっとやまはくタイム52（11月22日掲載）
2024. 1 博物館コレクション管理研究会発表「デジタルミュージアムとバーチャル収蔵庫の連動によるミュージアムDX～山口博物館の試み～」（オンライン 1月30日）
2024. 2 「技術の進化 ～計算機器を通して～」宇部日報ほっとやまはくタイム58（2月12日掲載）
2024. 3 「新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う体験型展示設置の取組について」山口県立山口博物館研究報告第50号

4 教育普及

(1) 教育普及講座

講座等（令和4年度）

部門	講座名・内容	実施日	場所	対象	受講者
天文	はじめての星空写真 講師：岩村和政（山口博物館）	5・27	当館	一般県民	24
	夏の星空を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	8・12	当館	一般県民	39
	中秋の名月を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	9・29	当館	一般県民	39
	木星と土星を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	11・18	当館	一般県民	48
	ふたご座流星群を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	12・15	当館	一般県民	雨天中止 (※)
地学	地学教室①「岩石・鉱物をみがいてみよう」 講師：赤崎 英里（山口博物館）	6・18	山口市	一般県民 (5歳以上)	25
	地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」 講師：赤崎 英里（山口博物館）	10・22	当館	一般県民 (小学3年生以上)	16
	地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」 講師：赤崎 英里（山口博物館）	3・7	当館	一般県民 (中学生以上)	5
植物	植物教室①植物標本をつくって調べよう！入門編 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	6・24	当館	一般県民	18
	植物教室②葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！ 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	8・27	当館	一般県民	21
	植物教室③落ち葉や押し花でランタンをつくろう！ 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	11・25	当館	一般県民	16
動物	初夏の昆虫観察 講師：田中 浩（山口博物館）・動物サポーター	6・4	鴻ノ峰	小学生以上	34
	夏の昆虫採集と標本作り 講師：田中 浩（山口博物館）・動物サポーター	7・29 ～30	当館・周辺	小学生以上	83
	秋の昆虫観察 講師：田中 浩（山口博物館）・動物サポーター	9・24	鴻ノ峰	小学生以上	23
	里山の動物観察会 講師：田中 浩（山口博物館）・動物サポーター	3・24	当館・周辺 里山	一般県民	雨天中止
考古	古代ウォーク 講師：横山 成己（山口大学埋蔵文化財資料館・助教） 水久保 祥子（同・技術職員）	10・28	山口市	一般県民	14
	埴輪をつくろう 講師：阿部 来（山口博物館）	12・16	当館	一般県民	22
	勾玉を作ろう！ 講師：阿部 来（山口博物館）	1・27	当館	一般県民	17

歴史	古地図を片手に街を歩こうー肥中街道・山口編ー 講師：山田 稔（山口博物館）	5・20	山口市	一般県民	20
	古地図を片手に街を歩こうー萩往還・山口編ー 講師：山田 稔（山口博物館）	10・1	当館・ パークロード周辺	一般県民	15
	歴史講座「企画展多々良の麻佐古 展示ガイド」 講師：和田秀作（元山口県文書館専門研究員）	12・3	山口市	一般県民	19
理工	ロボットプログラミング教室（初級） 講師：漁 剛志（山口博物館）	6・11	当館	一般県民	59
	科学工作講座 講師：漁 剛志（山口博物館）	8・9～ 10	当館	一般県民	53
	雪の結晶をつくろう！ 講師：漁 剛志（山口博物館）	12・10	当館	一般県民	14
	雪の結晶をつくろう！ 講師：漁 剛志（山口博物館）	2・4	当館	一般県民	43
参加者数 合計					667

※ 天候不順により中止

（2）学芸員派遣・社会貢献

岩村 和政

- ・日本のクリスマスは山口から実行委員（山口商工会議所）
- ・サイエンスアカデミー2023講師（防府市青少年科学館）
- ・理科授業カブラッシュアップ研修講座講師（やまぐち総合教育支援センター）

赤崎 英里

- ・「こども読書週間」イベント「化石レプリカを作ろう！」講師（2023. 5. 13 山口県立山口図書館）
- ・山口大学・美祢市パートナーシップ事業運営協議会監事
- ・山口県埋蔵文化財センター令和4年度発掘調査遺跡石材鑑定（山口県埋蔵文化財センター）
- ・山口地学会事務局

杉江 喜寿

- ・山口県希少動植物調査検討専門部会員（山口県自然保護課）
- ・美祢市立秋吉台科学博物館基本構想策定委員
- ・美祢市立秋吉台科学博物館協議会委員
- ・山口大学理学部博物館実習講師（2023. 7. 5）

田中 浩

- ・日本哺乳類学会 『哺乳類科学』編集委員
- ・西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会委員（山口県・広島県・島根県）
- ・山口県野生生物保全対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県イノシシ対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県シカ対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県サル対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・防府市文化財審議会委員（防府市）
- ・下関市立豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員（下関市）
- ・木屋川ダム再開発事業環境影響評価技術検討委員（山口県河川課）
- ・至誠館大学非常勤講師（生物学）

阿部 来

- ・山口県地方史学会幹事

山田 稔

- ・山口県立大学非常勤講師（博物館学内実習Ⅱ）
- ・下関市立歴史博物館協議会委員
- ・下関市文化財保護審議会委員
- ・岩国市博物館整備検討委員会委員
- ・毛利博物館資料評価委員
- ・山口県地方史学会理事
- ・山代郷土史研究会歴史講演会講師（2023. 9. 10 山代郷土史研究会）
- ・山口県ひとづくり財団講演講師（2023. 10. 14・28 山口県セミナーパーク）
- ・山口県職員初任者研修講師（2023. 10 ビデオ、山口県）

漁 剛志

- ・サイエンスやまぐち2023創造の部審査員（2023. 10. 11 山口県立山口博物館）
- ・2023やまぐち発明くふう展審査員（2023. 9. 29 山口県発明協会）
- ・2023やまぐち未来の科学夢絵画展審査員（2023. 10. 12 C S 赤レンガ）
- ・第1回やまぐちU15科学アイデア作品・研究コンテスト 審査委員（2023. 11. 18 防府市青少年科学館ソラール）
- ・ふるさとゆかりの偉人マンガの製作活用検討委員会（岩国市）
- ・岩国市科学センター整備検討委員会委員

(3) レファレンス

教育普及活動の一環として、各部門の学芸員によるレファレンスサービスを行っている。

電話・郵便・来館いずれでも随時受け付けている。

個人では小学生から成人まで、団体では学校、各種機関、企業、報道機関等多方面から相談が寄せられている。

各分野の学術的な質問、館蔵資料についての問い合わせ、資料の同定依頼等が多い。

なお、考古・歴史資料の鑑定依頼は受け付けていない。

※分野別の件数等については、Ⅲ 令和5年度利用状況及び年次推移 (3) 教育普及講座実施状況に記載

(4) 学校や地域団体への教育支援

博物館と学校・地域との連携を進めるために、平成16年度から以下の事業を実施している(地域との連携事業については平成19年度から)。令和5年度4月までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、社会見学等の来館対応では、同時刻に2団体以上の受け入れをしない、団体間の時間を1時間以上空ける、入館前の検温、体調チェックを徹底する、等の対策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和5年5月以降は、これらの制限等を撤廃した。

① 出前授業

学芸員や長期研修教員(ミュージアムティーチャー)が学校等に行き、収蔵資料や機器等を可能な範囲で活用しながら、より質の高い授業になるように、学校等の教育活動を支援した。

教科の学習や総合的な学習、資料展示(ミニ博物館)など、学習内容などを協議して実施し、令和4年度にはロボットプログラミング教室、昆虫教室、化石レプリカづくり、天体観測、勾玉づくりなどのプログラムを、小・中学校、地域団体など314団体のべ5,709人に実施した。

② 社会見学などに関する対応

社会見学などの団体見学に対し、担当者による館内案内や展示の解説、ワークシートなどを利用しての学習を行っている。令和5年度には、小学校、中学校、特別支援学校、地域団体など130団体、3,018名の利用があった。

③ 職場体験学習への対応

施設見学や学芸員の解説、社会見学ガイド実習等、各種体験活動をととして、学芸員の仕事や博物館の機能について学習している。令和5年度は中学校4校のべ21名を受け入れた。

④ 館内授業

学習内容に沿って、展示資料や収蔵資料などを活用し、館内授業を行っている。令和5年度は、化石レプリカづくり、ロボットプログラミング、などのプログラムを小学校、中学校など6校、137名に実施した。

⑤ 教材貸出

小・中学校用の学習教材の開発を手がけている。研修教員が出前授業等で使用する教材、学校が各教科や総合的な学習等で使用する教育用資料を準備した。令和5年度は、26団体への貸出を行った。

⑥ 学習コーナー

学習コーナーとして、既存の図書約900冊を用意し、各分野の学習ができる環境を整備

している。コーナーの一部には山口県の自然や歴史・科学・宇宙などに広く関心をもたせるために「なっとくんニュース」や出前授業制作品を展示した。

⑦ 長期研修教員(ミュージアムティーチャー)

令和5年度は、中学校教諭(2名)、中学校教頭(1名)の3名が1年間研修を行った。研修内容は、博物館学校地域連携教育支援事業の実施を通じての博物館の機能に関する一般的な研修、専門的な研修、県内外の博物館視察、報告書の作成などである。

⑧ 教員のための博物館の日(博物館一日体験研修)

小・中・高等学校の教員計58名が一日の研修を行った。研修内容は、博物館機能の解説講義、博物館学校地域連携教育支援事業の実践報告、特別展・館内見学、実習である。

⑨ 博物館学校地域連携推進会議

平成22年度から、元ミュージアムティーチャーと当館学芸員とがこれまでの活動を振り返りながら、博物館の人的物的な教育資源を今まで以上に有効に活用して、学校や地域のニーズに対応した質の高いプログラムを提供することを目的とする「博物館学校地域連携推進会議」を開催している。

⑩ 広報活動

博物館学校地域連携教育支援事業の活用を推進するために以下の活動を行ってきた。

- ・各地域の校長会や小・中学校の理科部会などに出向いて本事業の紹介
- ・「博物館ガイド」、「事業報告書」配付、月1回の「博物館だより」配信、ホームページ掲載
- ・広報誌「なるほどなっとくんニュース」を発行、ホームページ掲載

(5) サポーター制度

サポーター制度は、山口博物館の理念や活動に共感し、ともに山口博物館を作っていこうという意志を有する方に登録いただき、博物館の取組等に対する様々なサポート活動を行っている。

令和5年3月末の登録者数は46名である。令和4年度の活動はのべ200日以上、のべ800名以上のサポーターが活動をした。今年度の各分野別の活動状況を報告する。

① 天文部門サポーター活動

天体観望会など教育普及の天文行事の実施サポートを行った。観望会の準備、望遠鏡の操作、観望会一般参加者の受付・案内・誘導、観望会での解説、観望会の片付けなどで、その他望遠鏡のメンテナンスや資料整理のサポート活動、天文分野のコーナー展の展示活動を行った。天体観望会や天文ワークショップなど年間10回実施し、のべ64人の天文サポーターが活動した。



コーナー展の展示準備の様子



古い天体望遠鏡の操作練習

② 理工部門サポーター活動

収蔵資料の整理やデジタル化、工作講座や特別展などで使用する教材の開発及び教育普及行事のサポートを行うグループに分かれ、それぞれ、毎週金曜日及び教育普及行事当日に活動を行った。のべ73人の理工サポーターが活動した。



「科学工作講座」での指導



「雪の結晶をつくろう」での指導

③ 植物部門サポーター活動

植物標本作成（台紙への貼り付け作業など）、植物標本のデータ整理（パソコンへのデータ入力など）、植物標本の配架作業（標本棚への配架や標本の検索・確認など）を行う全体的な活動日を毎月の最終水曜日と定め活動を行った。植物標本のデータ整理では、毎週水曜日に活動を実施した。

その他にも、教育普及講座のサポート活動など、のべ45回、173人の植物サポーターが活動した。

特に令和5年度は、明治時代などの新しく確認された貴重な標本の整理・修復作業を開始した。



明治時代の植物標本の整理



植物標本のデータ入力



植物標本の整理・修復

④ 動物部門サポーター活動

哺乳類・鳥類などの仮剥製・骨格標本作製を行う「ホネっこ」グループの活動を日曜に行った。その他、毎週木曜を標本整理日と定め、昆虫類・哺乳類・鳥類の整理と登録、標本作製作業など、今年度はのべ44回、316人のサポーターが参加した。GBIF事業については、これまで約52,000件の山口博物館の昆虫類標本・軟体動物が公開されているが、本年度新たに9,000件申請した。また、教育普及行事のサポート活動を行い、講師として、参加者の指導と安全管理を行った。地域のインベントリー調査として2015年4月から月2回土曜に鴻ノ峰生物採集・観察・標本作製を継続して行った。2024年3月までの9か年で、昆虫類1,500種以上確認し、採集した個体は11,000を超えた。動物サポーターの活動報告として「サポちゃん通信12号」を8月に、「サポちゃん通信13号」を2月に発行した。



「ホネっこ」哺乳類標本作製



初夏の昆虫観察会講師として活動



秋の昆虫観察会講師として活動

⑤ 地学部門サポーター活動

1名が活動し、不定期で資料整理を行った。

5 その他

(1) 刊行物

山口県立山口博物館研究報告 第50号

当館職員の研究報告で、年1回発行。配布先は全国の博物館、大学、その他の研究機関。

発行部数 650部、B 5判、72頁、2024年3月発行

山口県の自然 第84号

山口県の自然に関する報告誌で、投稿は県民に開放している。発行先は、全国の自然系博物館、大学、研究機関、県内の図書館、中学・高校の図書館等

発行部数 650部、B 5判、20頁、2024年3月発行

山口県立山口博物館館報 第45号

令和4年度の博物館事業の報告書。配布先は県内の小・中・高・大学、博物館、図書館で、県外は当館と関連のある研究・教育機関。

発行部数 800部、A 4判、59頁、2024年3月発行

博物館学校地域連携教育支援事業報告書(令和5年度版)

令和5年度の博物館学校地域連携教育支援事業の報告書は、利用案内・長期研修報告として県内の小・中学校等に配布。 520部、A 4判、48頁、2024年3月発行

(2) 博物館実習・インターンシップ・社会体験研修

学校名	人数(人)	期 間	内 容
博物館実習			
京都府立大学	1	8/7～11	学芸専門、展示・講座実習等
山口大学	1		
広島女学院大学	1		
山口県立大学	1		

インターンシップ 山口大学 梅光学院大学 山口県立防府西高等学校	1 1 3	8 / 7 ~ 11 (高校は 8 / 9)	博物館業務体験
中堅教諭等資質向上研修 山口県立防府総合支援学校 山口市立平川小学校	1 1	8 / 7 ~ 9	博物館業務体験

(3) 山口県博物館協会（事務局：山口県立山口博物館）

山口県博物館協会は、昭和38年に発足している。現在、山口県内の多くの博物館等が加盟しており、令和5年度末の加盟館数は61館園等となっている。

協会の事業は、年1回の総会をはじめ、研修会、各種刊行物の発行など多岐にわたっており、加盟館相互の連携を図りつつ、博物館事業の普及発展を目的として活動を行っている。

山口博物館は、協会発足以来、会長館・事務局を務めている。平成25年度には創立50周年記念式典を挙行了した。

(4) 日本博物館協会中国支部

（事務局：R 4～R 5 広島県立歴史民俗資料館）

日本博物館協会中国支部は昭和49年に発足し、中国5県に所在する博物館協会の会員により構成しており、令和5年度末の加盟館数は77館園となっている。

支部の事業としては、年1回の総会をはじめ、研修会、会報の発行などがあり、中国地区内の館園相互の連携を図り、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている。

令和5年度は、役員会・総会が、みよしまちづくりセンター（広島県三次市）にて開催された。研修会は下関市立美術館にて開催された。

山口博物館は、令和4・5年度は理事を務めた。

V 基本方針と令和6年度の事業概要

1 基本方針

(1) 文化の継承と発展に努める

本県は古くから大陸との交流において大きな役割を果たし、特色ある文化を育んできた。当博物館は、様々な活動を通じて山口県の自然と歴史を調査研究し、本県文化の継承と発展・創造に寄与する資料を収集・保管し必要に応じて提供する。

(2) 人文系と自然、理工系の総合博物館として活動する

人文系及び自然、理工系をあわせ有する博物館として、その特色を生かしながら、郷土色豊かな総合博物館としての発展をめざす。

(3) 豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する

心の豊かさと、創造性に富む人づくりの推進の一翼を担う社会教育施設として、活発な活動を行う。

(4) 多彩な博物館活動を行う

- ・ 資料の収集・保管に努める。
- ・ 資料の調査・研究に努める。
- ・ 展示活動の充実を図る。
- ・ 普及教育活動の充実を図る。

2 令和6年度の重点取組事項

当館の収蔵資料に「リアル」と「バーチャル」の両面で触れて学べる機会を拡充する。各種講座の安全な実施をはじめ、所蔵資料の活用や他館・大学・団体等との連携を図りながら、地域との連携や地域の再発見を進める展示に力を入れる。

・ リアル＋バーチャルの融合 ・ 地域と連携する展示 ・ 県民参加の促進

(1) 特別展や企画展など年間を通じて多彩な展覧会を開催する

◇特別展「大解剖！からくりワールド」の開催

- ・ からくり人形やロボットなどの体験をとおして、科学技術の楽しさや面白さについて知っていただく機会とする。

◇企画展の開催

- ・ 「やまぐち植物散歩〔I〕」

◇バーチャル博物館やオンライン授業の充実

- ・ 文化資源のデジタル化（バーチャル収蔵庫）を含むデジタル山口博物館の充実
- ・ デジタル松下村塾等の展示収蔵資料を活用したオンライン授業

(2) 教育普及活動や博学連携事業を安全かつ効果的に実施する

◇タイムリーかつ幅広い年齢層を対象とした講座の企画・実施

◇MT（ミュージアムティーチャー）と学芸員の連携による出前授業等の実施

◇デジタルデータの活用による各種講座の内容充実、オンライン授業の実施・支援

◇サポーター活動に対する支援

(3) リアル・バーチャル両面の展示環境を整える

◇ホームページ上のバーチャル展示を「バーチャル山口博物館」として統合・整理し充実

◇老朽化した施設・設備の適切な維持管理

(4) 情報発信を強化する

◇SNS（フェイスブック、インスタグラム）による発信

- ◇展示資料や山口県に関するメモリアルデイ等を活用した情報発信
- ◇常設展・企画展における情報発信の強化

3 達成指標

(1) 総利用者数（入館・教育普及・レファレンス・出前授業）

→ 過去3年間（令和3年度～5年度）の平均値超

(2) リアル博物館満足度

◇特別展来館者満足度（とても良かった・良かった）

→ 過去3年間（令和3年度～5年度）の平均値超

◇新教育普及講座参加者満足度 → 5段階評価平均値 4.5超

◇新博学地域連携事業事後アンケート満足度（とても良かった・良かった）

→ 90%超

(3) バーチャル博物館活用度

・記者発表件数

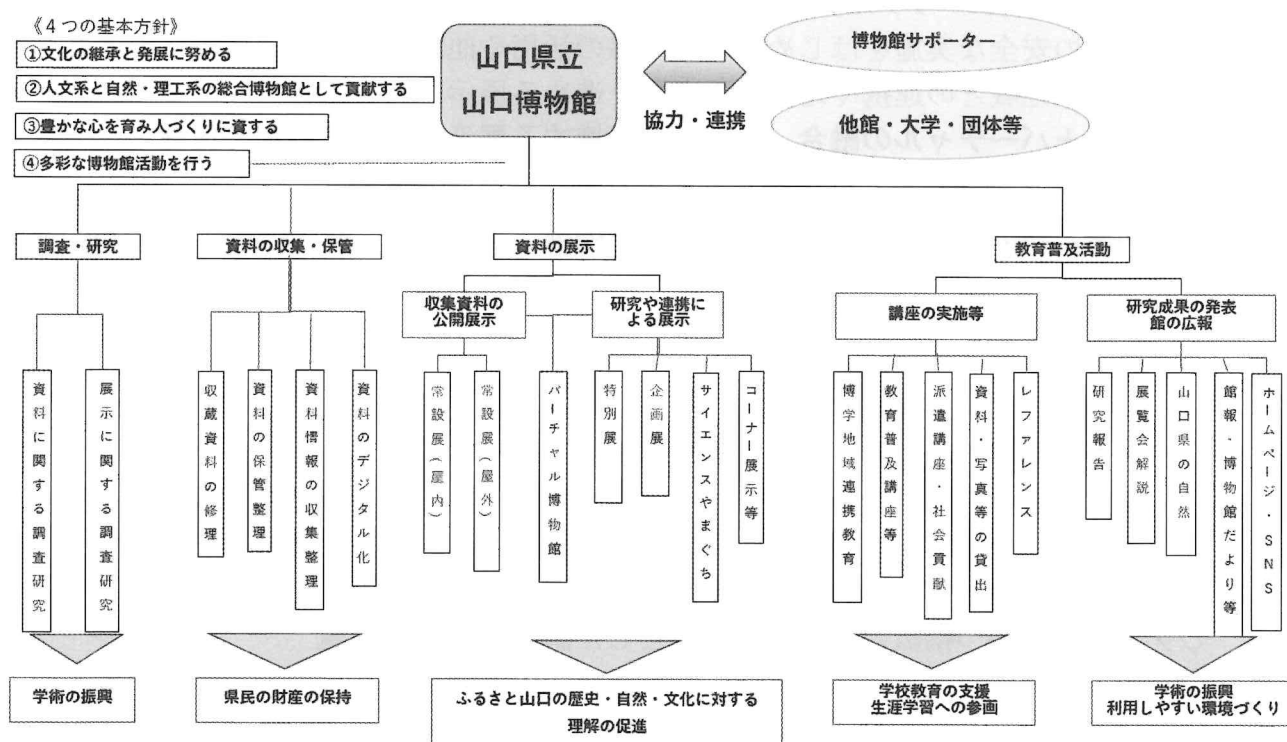
→ 前年度超

・SNS（Face BookやInstagram）閲覧件数

→ 前年度超

4 機能

★山口博物館の基本方針と活動体系★



5 博物館活動の展開

基本方針を基調として、下記の各事業活動を実施する。

ア 調査・研究

調査・研究は、博物館活動の基礎となる事業である。その成果は、学術論文や当館の刊行物として公表されるばかりではなく、展示・講座・観察会などに生かされる。山口県の自然・科学・歴史を明らかにする目的で、多様な視点から研究を行う。

総合研究

山口県の自然や科学の現状と歴史を把握し、その起源と成立過程を明らかにすることを目的として、広い領域を対象とした共同研究を行う。

総合研究① 新しい時代の博物館活動に関する総合的研究

総合研究② 山口県の自然と文化に関する総合的研究

重点研究

山口県の自然・科学・歴史及び博物館活動に関する今日的な課題を総合研究の課題に準じて設定し、短期集中的に調査し研究を行うプロジェクト研究を行う。今年度は総合研究①の課題に準じて重点研究①、総合研究②の課題に準じて重点研究②の研究を行う。

重点研究① 山口博物館の歴史と新しい博物館像に関する調査研究

重点研究② 樺野川流域における歴史・自然・科学の総合学術研究

専門研究

学芸員・研究員が専門的なテーマについて、より深く探究することを目的に研究する。

担当	研究分類	課 題	内 容
岩村 (天文)	重点①	新しい時代の学校教育やボランティア活動について	「障害者差別解消法」に則した天体観望会における合理的配慮の工夫とボランティアとの連携を探る。
	専門	天体写真の撮影方法や映像のライブ配信についての研究	大型望遠鏡とカメラの接続や撮影方法について研究し、天体写真資料をデータベース化する。また観望会などで、ライブ配信などを活用して情報発信を進める。
赤崎 (地学)	重点①	興味を引き、理解を深める展示方法について	多数の鉱物資料を観点別にグループ化して展示する。興味を引くだけでなく、理解を深める展示方法について探る。
	専門	岩石資料・化石資料の収集と整理・活用について	新たに収集した資料を含めて資料整理を進め、展示や教育普及講座での活用方法を探る。
杉江 (植物)	重点①	植物分野関係資料の効果的な展示についての調査研究	スペースの限られた展示室の中で、展示物の配置や展示装置、ICT機器などの工夫によって、わかりやすく興味深い情報をより効果的に展示する。
	専門	山口県のレッドリスト改訂にともなう山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、及び効率的なデータベース化の研究	山口県のレッドリストの改訂にともなう山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、標本整理、資料のデータベース化を進め、山口県産植物の分布の実態を明らかにするとともに資料の活用を進める。
	重点①	山口県産植物に関する調査結果の県民への情報発信及び効果的な活用に関する研究	身近で貴重な山口県の植物の調査結果を発信し、また教育普及活動などで活用していくことで、植物への興味だけでなく山口県の自然への興味関心を高める。

大森 (動物)	重点②	山口県の動物に関する標本・文献・情報データのマップ化	山口県の動物に関するデータの詳細な位置情報を整理し、分布の経年変化や潜在的な生息地の抽出を行う。
	専門	山口県の哺乳類の生息分布・生態調査研究	哺乳類の分布状況を自動撮影カメラにより把握し、県内の生息実態を明らかにする。
	専門	天然記念物の生息状況に関する研究	山口県に生息するヤマネについて、生息分布状況を把握し、生息実態・社会構造を明らかにする。
阿部 (考古)	重点①	山口県内の遺跡に関する調査研究	県内遺跡の情報収集や調査を行い、その価値を明らかにし、成果を次年度以降に活用する。
	専門	考古資料と文献資料の関連についての研究	当館には文献資料が主流となる歴史時代の考古資料も多く存在する。性格の異なる二つの資料を相互に関連付けて、その時代像がよりよく浮かび上がるような展示のあり方を模索し、研究する。
	専門	考古・歴史関係資料の効果的な発信について	先進的な博物館の視察等を通じて、直接手で触れたり聴覚に訴えたりする、考古・歴史関係資料の発信方法について研究する。
山田 (歴史)	重点①	歴史分野における古文書の効果的展示方法に関する研究	古文書の展示について、AV機器等を駆使した展示装置や解説など効果的な展示方法について研究する。
	専門	萩藩絵図方に関する調査研究	萩藩絵図方の活動や作品に関する調査研究を行う（継続）。同時に郡方地理図師有馬基惣太の事績について調査研究を進め、講座や展示に反映させる。
	専門	絵図を利用した教育普及事業に関する研究	江戸時代の絵図を利用した街道と史跡を歩いて巡見する講座の実践と効果的開催方法を研究する。
漁 (理工)	専門	科学技術史における県内産業の位置づけとその動向	県内産業と科学技術史との関連について調査する。
	専門	理工収集資料体系の構築	全国的にも数少ない理工系博物館として、技術史全般を検討し、それに沿って収集資料を整理する。
	専門	デバイス材料の表面物性研究	表面物性科学の最先端研究や動向等を調査する。

イ 資料の収集・保管

(ア) 収集

当館の資料基準にもとづいて、資料の収集を行う。

資料の収集は原資料を原則とするが、展示の必要に応じて複製・模型・模写・写真・フィルム等も収集する。

本県の歴史や自然に関し、学術的・文化的・教育的な価値の高い参考資料も本館設の目的に照らし、その確保に努める。

(イ) 保存・管理

収集資料は、分類・整理のうえ、収蔵庫において保存・管理し、資料の保管と出納の円滑化を図る。また、定期的に資料の燻蒸消毒や全館燻蒸を実施して虫害・菌害を防止し、空調設備による温・湿度の調整を行って資料を保管に万全を期す。

ウ 資料展示

(ア) 常設展

天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7部門について、次の常設展示を行う。

- ・天文・・・宇宙の構成や隕石、天文学史などの天文資料
- ・地学・・・県内を中心とした岩石・化石・鉱物などの地学関係資料
- ・植物・・・県内を中心とした植物標本など植物生態関係資料
- ・動物・・・県内を中心とした脊椎動物・昆虫・貝類標本などの動物資料
- ・考古・・・県内外の遺跡出土品を中心とした考古関係資料
- ・歴史・・・古代から近・現代にいたる山口県の歴史を明らかにする資料
- ・理工・・・2階はロボットコーナー・科学技術史資料・すご技！やまぐちコーナー、未来エネルギー模型など。3階は山口線運転シミュレータ等の体験ができる展示物を中心とした理工関係資料

(イ) 特別展・企画展

県民の知的ニーズに応えるため、学芸員の調査研究に基づいた企画性の高い、内容のより充実した特別展及びテーマ展を開催する。

(ウ) サイエンスやまぐち2024

青少年の科学に関する関心を深め、科学する心を育み、その研究心を振興するために「サイエンスやまぐち」を開催する。

エ 教育普及活動

生涯学習の必要性が高まり、その充実が図られている現在、博物館（学芸員と2名の長期研修教員（ミュージアムティーチャー））も児童生徒のみならず広く一般県民を対象として次の諸活動を行う。

- (ア) 解説案内 要望に応じて、可能な限り学芸員やミュージアムティーチャーが展示室の解説案内を行う。また、資料等に関する質問には積極的に対応する。
- (イ) 博物館教室 講習・採集・見学会など各種の学習会を企画開催するほか、各市町・公民館・団体等の要請にもとづき現地学習会を開催する。
- (ウ) 広報出版 館報・研究報告・山口県の自然などの出版活動をとおして、博物館活動を多方面にPRする。
- (エ) 県内類似機関との連携 県博物館協会ほか類似機関との連携を図り、交流を深めながら職員相互の資質向上を図る。
- (オ) 派遣講座 生涯学習充実の一翼を担うため、各市町・公民館・団体等の要請に応じて学芸員を派遣し、部門ごとに専門的な講座を実施する。
- (カ) 博学地域連携 学校等への出前授業や資料貸出、教員研修などに積極的に取り組み、学校・地域との連携を推進する。

6 サポーター制度

サポーター制度により次の諸活動を行う。

- (ア) 展示解説 来館者に対する展示資料の解説や案内・支援を行う。
- (イ) 教育普及 講座の準備、指導補助や安全確保を行う。
- (ウ) 調査研究 標本作製、データ入力、野外での採集などを行う。
- (エ) 資料整理 標本や資料の整理、ラベル作成、データ入力等を行う。
- (オ) サポーター 講座 サポーター活動を理解するための講座を開催する。受講によりサポーター活動ができる。

7 施設・設備等の整備促進

博物館活動を充実するため、施設・設備等について計画的に整備を進める。

8 令和6年度事業概要

事業名	目的	内容
博物館運営費	博物館の運営、財産管理、学芸員の調査研究、次年度に開催する特別展の準備を行う。	1 博物館運営協議会の開催、博物館モニター の設置 2 博物館の管理運営、博物館施設整備 3 博物館の機械設備保守点検等委託 4 学芸員の資料調査、研究活動 5 特別展の出品資料調査
博物館整備事業費	博物館活動を充実するため、資料の整備、資料の購入、展示室の維持整備を図る。	1 資料展示保守点検等 2 展示資料 他
博物館学校地域連携教育支援事業	児童生徒や学校現場等に必要とされる資料と人材を提供することにより、学校の教育活動や地域団体の学習活動を支援する。また、一般県民や青少年を対象に各種講座を開始し、県民への学習活動を支援する。	1 学校や地域団体への教育支援 ・来館利用（社会見学、館内授業、職場体験）の受入と出前授業の実施 ・教材開発、学習プログラムの開発、貸出教材の充実等 ・ホームページ、メールマガジン、博物館だより等を活用した広報活動 ・教員研修の充実 2 教育普及活動 ・学習ニーズの多様化、高度化に対応した講座（歴史教室、地質めぐり等）の開催 ・青少年の体験学習や学校教育と連携した講座（動物観察会、植物教室等）の開催

9 令和6年度事業計画〈部門別〉

（令和6年（2024年）6月時点のもの）

部門等	行事名・講座名	実施日
特別展	「大解剖！からくりワールド」	7月26日(金)～8月25日(日)
サイエンス やまぐち	サイエンスやまぐち2024第78回山口県科学研究発表会審査会	10月10日(木)
	サイエンスやまぐち2024第78回山口県科学作品展	10月25日(金)～11月10日(日)

企画展		「やまぐち植物さんぽ【Ⅰ】」	4月25日(木)～6月16日(日)
教 育 普 及 講 座 等	【天文】	春のメシエ天体を見る会	5月11日(土)
		夏の星空を見る会	8月31日(土)
		はじめての望遠鏡	11月9日(土)
		月と土星の接近を見る会	12月8日(土)
		惑星を見る会	7年1月18日(土)
	【地学】	地学教室①「岩石・鉱物をみがいてみよう！」	6月16日(日)
		地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」	10月20日(日)
		地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」	3月8日(土)
	【植物】	植物教室①「葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」	5月25日(土)
		植物教室②「植物標本をつくって調べよう！入門編」	6月8日(日)
		植物教室③「落ち葉や押し花でランタンをつくろう！」	11月16日(土)
	【動物】	初夏の昆虫観察	6月2日(日)
		夏の昆虫観察と標本作り	7月20日(土)・21日(日)
		秋の昆虫観察	9月29日(日)
		里山の動物観察会	7年3月23日(日)
	【考古】	埴輪をつくろう！	5月26日(日)
		勾玉をつくろう！	8月9日(金)
		古代ウォーク	10月5日(土)
	【歴史】	古地図を片手に街を歩こう-肥中街道・山口編-	5月18日(土)
		古地図を片手に街を歩こう-萩往還・山口町編-	10月6日(日)
		まちなか探検！親子で楽しむ古地図を片手に街を歩こう-萩往還・山口編	11月24日(日)
	【理工】	ロボットプログラミング教室（初級）	6月9日(日)
		科学工作講座	8月7日(水)・8日(木)
		ロボットプログラミング教室（中級）	11月1日(金)
		雪の結晶をつくろう！	12月14日(土)
博学地域連携		博物館学校地域連携推進会議	6月21日(金)
		自由研究の進め方教室	7月13日(土)・14日(日)
		教員のための博物館の日（博物館1日体験教室）	8月21日(水)・22日(木)・23日(金)

大学連携	博物館実習	8月5日(月)～10日(金)
	インターンシップ	8月5日(月)～10日(金)
博物館協議会	第1回山口博物館協議会	11月
	第2回山口博物館協議会	2月～3月
博物館協会	山口県博物館協会理事会・総会	5月15日(水)
	日本博物館協会中国支部役員会・総会（山口県）	5月30日(木)・31日(金)
	日本博物館協会中国支部研修会	11月21日(木)・22日(金)
	山口県博物館協会研修会	11月29日(金)
	山口県博物館協会理事会	2月～3月
施設管理	全館消毒	6月17日(月)
	全館停電（休館）	10月12日(土)

※令和6年度の事業計画（次ページ以降も含む）は、令和6年6月現在のものを掲載している。

令和6年度特別展「大解剖！からくりワールド」開催要項

1. 趣 旨

技術が進歩して私たちの生活スタイルが変わっていても、歯車やリンクなどの機械要素は、モーターやロボットには欠かせない部品であり、私たちの生活を支え続けてくれています。

本展覧会では、技術が進歩しても変わらない歯車やリンク等の機械要素について、子どもの大好きなからくり人形やロボットなどを実際に体験してもらうことにより、観覧される方々に科学技術の楽しさや面白さについて知っていただく機会とします。

また、展示の中では、県内の「ものづくり」企業の製品や、山口県在住の世界的なオートマタ（西洋のからくり人形）作家である原田和明氏の作品等を紹介することで、本県の最大の強みである「ものづくり」について理解を深める場とします。

2. 会 期 令和6年（2024年）7月26日（金）～8月25日（日）（28日開催）
（休館日 8月12日（月）を除く期間中の月曜日）

3. 会 場 山口県立山口博物館 3階会場（山口市春日町8-2）

4. 入 館 料 一般 1,000円、学生・シニア（70歳以上の方）650円
18才以下の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校等に在学する生徒は無料

5. 主 催 山口県、山口県教育委員会、「大解剖！からくりワールド」実行委員会（山口県立山口博物館、（公財）山口県ひとづくり財団、（公財）やまぐち産業振興財団、（地独）山口県産業技術センター、（一社）山口県観光連盟、K R Y山口放送、山口新聞社）

6. 特別協賛 株式会社豆子郎、富士高圧フレキシブルホース株式会社、山田石油株式会社、公益財団法人日本教育公務員弘済会山口支部、株式会社山口教弘、一般社団法人山口県発明協会 兼安石灰機工株式会社 株式会社巽設計コンサルタント、株式会社川棚グランドホテルお多福 株式会社瓦そばたかせ 川棚温泉まちづくり株式会社、カワノ工業株式会社 野田学園中学高等学校 萩山口信用金庫 山口産業株式会社

7. 後 援 N H K山口放送局、エフエム山口、C-able山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社

8. 展示内容

1章 からくり回廊

ロボットやからくりを構成している機械要素ってどんなものがあるでしょうか。回廊には、カムやリンクなどの機械のしくみを学ぶための模型や、ティラノサウルスやクモのようなかたちをした物体のスケルトン模型が潜んでいます。それらがどんなつくりをしているのか、よく観察してみましょう。

2章 山口発！私たちの暮らしを支えるすご技！技術

山口県には、私たちの暮らしを支えている「ものづくり」企業がたくさんあります。それらの企業が有する優れた技術の魅力をわかりやすい形で紹介します。

3章 体験！オートマタ

山口県在住のオートマタ（西洋のからくり人形）作家、原田和明氏の製作した作品を中心に、コミカルな動きを実現したオートマタを紹介します。オートマタのコミカルな動きに、思わず微笑んだり、うならされたり……。どうして、そんな動きができるのか。オートマタを動かして、それらの動きをじっくり観察してみましょう。

4章 つくってみよう！組み立て工房

自由な発想で、ギアやリンクなどを自由に組み合わせて、オリジナルの機械をつくってみよう。工作コーナー（有料）も用意しています。

9. 関連イベント

○ ミュージアムリレー

県内の博物館・園に設置しているキーワードを集めて、商品をゲット！

○ 週替わり工作

5種の工作物を用意し、1個100円（税込）で販売。週替わりの工作と、会期を通してつくることの出来る工作の計5種を用意することでリピーターの獲得につなげるとともに、「ものづくり」の楽しさを体感してもらう。

○ 「ものづくり」お仕事体験

など

サイエンスやまぐち 2024

開催要項

1 趣 旨

児童生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることをめざすもの。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会、山口県小学校教育研究会理科部、山口県中学校教育研究会理科部、山口県高等学校教育研究会理化部会、山口県高等学校教育研究会生物部会

4 会 期 令和6年10月25日（金）～11月10日（日）（15日間開催） （開場時間 9時～16時30分 入場は16時まで） ※10/25（金）は総合開会式後に開場 10/28（月）、11/5（火）は休館日

5 会 場 山口県立山口博物館（山口市春日町8-2）

6 観覧料 常設展入館料に含む。一般 150円（団体 120円）、学生 100円（団体80円）。 18歳以下及び70歳以上、小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する児童生徒は無料。団体は20名以上。（教育・文化週間中の11月1日（金）～7日（木）は、すべての入館者が無料。）

7 内 容

児童生徒の研究成果を顕彰する取組として、科学作品展と科学研究発表会を開催する。また、開催初日には総合開会式（表彰）を行う。

（1）第78回山口県科学作品展

自然の部 県内の児童生徒が行った自然に関する観察・実験などの研究物
約160点

創造の部 県内の児童生徒が創意工夫した生活用具や遊び道具など 約50点

審 査 令和6年10月9日（水）

（2）第78回山口県科学研究発表会

県内の児童生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査する。入賞作品は科学作品展の会場で公開する。

審 査 令和6年10月10日（木）

（3）総合開会式（表彰）

科学作品展と科学研究発表会の優秀作品の表彰と、受賞者本人による解説を実施する。

日 時 令和6年10月25日（金）10:00～10:30

山口県立山口博物館企画展（植物分野） 開催要項

やまぐち植物さんぽ 【Ⅰ】

～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ！～

- 1 趣 旨 植物の世界は奥深く、知れば知るほどすごい、おもしろい、ふしぎな世界が広がっていて、山口県やその周辺にも興味深い植物がたくさんあります。
本展では、山口県内の植物を中心に、そのすごさやおもしろさ、ふしぎさ、をそれらの植物が生育している地域の美しい景観とともに紹介します。また、牧野富太郎博士の標本を含む貴重な収蔵資料を公開するとともに、世界のおもしろい植物の果実や種子の展示、植物講座やミニ体験なども実施します。
今回の展示で、一人でも多くの人々が植物の世界により興味をもつとともに、自然を大切にする心を育んでいただけると幸いです。
(※今回の展示は、シリーズの前編という位置付けです。)
- 2 会 期 令和6年(2024年)4月25日(木)～6月16日(日)
開館時間 9:00～16:30
入館は16:00まで。月曜休館（月曜が祝日の場合は火曜休館）
※4月29日(月)、5月6日(月)は開館
- 3 会 場 山口県立山口博物館 3階展示室
- 4 主 催 山口県立山口博物館
- 5 観覧料 常設展観覧料（一般 150円、学生 100円）
※70歳以上、18歳以下、小・中・高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）等に在籍する児童生徒は無料
- 6 内 容 (1) プロローグ
・山口県の自然や絶景を映像や画像で紹介
(2) やまぐちの植物さんぽに出かけよう！
① やまぐちのすごい植物たち
・県内の絶滅危惧種や天然記念物の貴重な植物を紹介
② やまぐちあちこち植物めぐり
・県内各地の植物を画像や映像、標本などで展示
(3) やまぐちの、日本の植物研究はここから始まった！？
・牧野富太郎博士などの明治時代の標本や当時の新聞記事を展示
(4) やまぐち周辺の植物さんぽ（九州北部編）
・山口県の周辺県（九州方面）の貴重な植物や景観を紹介
(5) 植物っておもしろいね、ふしぎだね！
・沖縄&世界のふしぎな植物、やまぐちの植物カルタ、クイズなど
- 7 関連イベント
(1) 植物分野の教育普及講座（期間中2回）
・「葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」（5月25日(土)）
・「植物標本をつくって調べよう！入門編」（6月8日(土)）
(2) 植物に関するミニ体験（不定期開催）
・「世界のふしぎな実やタネにふれよう」、「植物のしおりをつくろう」などの体験活動を展示会場で期間中に実施



常設展示 入館案内

開 館 時 間 9時～16時30分

(入館は16時まで)

閉 館 日 ① 月曜日 (当日が祝日の場合は火曜日)

② 年末年始 (12月28日～1月4日)

③ 全館停電日

④ 全館消毒日

常設展示観覧料

区 分	個人	団体 (20人以上)
一 般	150円	120円
学 生	100円	80円
無 料	(1) 生活保護を受けている者 (2) 身体障害者 (身体障害者手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (3) 戦傷病者 (戦傷病者手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (4) 高齢者 (70歳以上の者) (5) 知的障害児者 (療育手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (6) 精神障害児者 (精神障害者保険福祉手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (7) 小・中・高の児童生徒の団体観覧の引率教員 (8) 教育・文化週間 (11月1日～7日) 期間中の全入館者 (9) 18歳以下の者及び高等学校、中等教育学校、総合支援学校 (特別支援学校) 等に在籍する児童生徒	

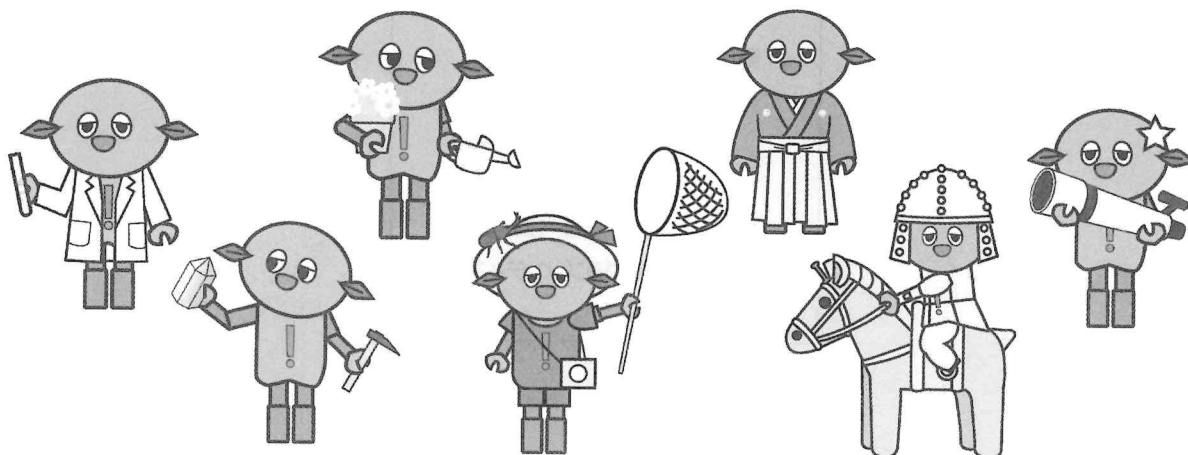
(特別展の場合は観覧料が変わります)

常設展示内容 天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工
 場 所 〒753-0073 山口市春日町8番2号
 (バス利用) 県庁前下車徒歩4分

TEL (083) 922-0294

FAX (083) 922-0353

URL <https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



発 行 令和 6 年11月

発行者 山口県立山口博物館
山口市春日町 8 の 2

☎ 083-922-0294

FAX 083-922-0353

印刷所 脩いづみプリンティング